Ⅴ　業績目録

１ 著書・論文・投稿

著者	タ　イ　ト　ル	出版社・書名・誌名ほか	発行年
Kobayashi H., Eriguchi T., Tanaka T., Ogata T., Ishida M., Nakajima Y., Kumabe A., Kosugi M.	Distribution analysis of hydrogel spacer and evaluation of rectal dose reduction in Japanese prostate cancer patients undergoing stereotactic body radiation therapy.	Int J Clin Oncol 2021 Apr;26(4):736-743.	2021年
Nakajima Y	A clinical guide to urologic emergencies.	Edited by Wessells H, Horie S, Gomez RG p.119-125, Wiley-Blackwell. NJ, USA	2021年
中島　洋介	膀胱・尿道・陰茎損傷.	福井次矢、高木　誠、小室一成　総編集: 今日の治療指針 私はこう治療している 2022. p.1233-1234, 医学書院, 東京	2022年1月1日
Yagi K, Ito A, Fujiwara K, Morino E, Hase I, Nakano Y, Asakura T, Furuuchi K, Morita A, Asami T, Namkoong H, Saito F, Morimoto K, Ishii M, Sato Y, Tateno H, Nishio K, Oyamada Y, Fukunaga K, Sugiyama H, Ishida T, Kurashima A, Hasegawa N	Clinical Features and Prognosis of Nontuberculous Mycobacterial Pleuritis: A Multicenter Retrospective Study	Ann Am Thorac Soc. 18(9):1490-1497	2021年
Uno S, Nishimura T, Nishio K, Kohsaka A, Tamizu E, Nakano Y, Kagyo J, Nakajima Y, Arai R, Hasegawa H, Arakawa K, Kashimura S, Ishii R, Miyazaki N, Uwamino Y, Hasegawa N	Potential biomarker enhancing the activity of tuberculosis, hsa-miR-346	Tuberculosis ;129:102101.	2021年

著者	タ　イ　ト　ル	出版社・書名・誌名ほか	発行年
Harada Y, Shimada K, Kubota Y, Yoshimoto T	Ivabradine for chemotherapy-related cardiac dysfunction in breast cancer.	Cureus. 2021;13(10):e18731. doi: 10.7759/cureus.18731	2021年
栗原　夕子、 高松　正視、 安西　秀美、 定平　健、 鈴木　貴博	メサラジンによる薬剤誘発性血管炎の合併が疑われた潰瘍性大腸炎の一例	日本病院総合診療医学会雑誌第18巻第1号	2022年
柴田　滋文	児童・思春期精神科から見た成人期の発達障害	精神科　Volume40 (1): pp7-12 科学評論社 東京	2022年
Ikarashi H, Aketa N, Shimizu E, Takano Y, Kawakita T, Uchino Y, Matsumoto Y, Ogawa J, Tsubota K, Ogawa Y.	Two case reports of continued progression of chronic ocular graft-versus-host disease without concurrent systemic comorbidities treated by amniotic membrane transplantation	BMC Ophthalmol 2021 7;21(1):164.	2021年
Usuda S, Muraoka W, Asoda S, Horie N, Nakagawa T, Ouchi T.	Diagnosing Trigeminal Neuralgia Based on Clinical Diagnostic Reasoning in an Elderly Patient.	Bull Tokyo Dent Coll. 2021 Dec 4;62(4):253-260.	2021年12月
椎山　理恵(川崎市立井田病院皮膚科)、 龍神　操、 村岡　渡、 杜　雯林、 品川　俊人、 安西　秀美	口唇腫脹を呈した粘膜関連リンパ組織節外性辺縁帯リンパ腫(MALTリンパ腫)の1例	臨床皮膚科(0021-4973)75巻13号 Page1096-1100(2021.12)	2021年12月
Kasahara H, Hachiya T, Mori A.	Emergency Endografting for Spontaneous Thoracic Aortic Rupture.	Ann Thorac Cardiovasc Surg 27(1):68-70.	2021年
Mori A, inoue S, Orikasa H, Yoshimoto T, Konishi H.	Coronary Artery Fistula Aneurysm:Pathological Analysis After Surgery.	Cureus 13(5):e14903.	2021年
Inoue S, Mori A, Iida Y, Oka H.	Isolated congenital absence of a single pulmonary valve cusp.	JTCVS Tech 10:433-436.	2021年

著者	タ　イ　ト　ル	出版社・書名・誌名ほか	発行年
Masuda S, Mori A, Mizonishi S, Tashiro R.	Creation of an Analytical Model of Spinal Cord Cooling by Epidural Catheter for Preventing Paraplegia.	Cureus 13(12):e20430.	2021年
Harada Y, Shimada K, Kubota Y, Yamashita M	Effectiveness of Iodine-123 β-methyl-P-iodophenyl-pentadecanoic acid (BMIPP) Myocardial Scintigraphy for Cancer Therapeutics-Related Cardiac Dysfunction (CTRCD) in Breast Cancer Patients	Cureus 14(5):e25524.DOI 10.7759/cureus.25524	2022年
西　智弘	わたしたちの暮らしにある人生会議	金芳堂	2021年
西　智弘、 宮森　正	Dr. 西＆Dr. 宮森の高齢者診療はエビデンスだけじゃいかんのです	日経BP	2021年
此枝　生恵	咽頭痛・嚥下困難感を契機として診断された急性白血病症例	耳鼻咽喉科臨床 vol.114 No.7pp 533-539	2021年
此枝　生恵	気管切開術の晩期合併症として頸部気管憩室を生じたと考えられる1例	日本気管食道科学会会報 vol.73 No.1 pp 36-42	2022年
藤村　知賢 足立　陽子 大山　隆史 有澤　淑人 掛札　敏裕 杜　雯林	上行結腸癌の術中に胆嚢壁の結節として発見された副肝の１例	日本臨床外科学会雑誌　第83巻　２号	2022年
菊池　眸 小嶋　由香 杉田　光男 関根　由貴 西尾　和三 中野　泰 中島　由紀子 大塚　喜人 近松　絹代 青野　昭男 御手洗　聡	*Mycobacterium abscessus* complexの薬剤感受性に関する検討	日本臨床微生物学会雑誌 第31巻　第3号	2021年
佐野　剛史 菊池　眸 高橋　加奈子 松本　麗 伊藤　万里子	新型コロナウイルス　迅速抗原検査キットの比較検討	自然科学社　医学と薬学 第78巻　第5号	2021年
佐野　剛史 菊池　眸 高橋　加奈子 松本　麗 伊藤　万里子	新型コロナウイルスおよびインフルエンザウイルス同時検出迅速抗原検査キットの評価	自然科学社　医学と薬学 第78巻　第12号	2021年

2 学会発表

演者	演題名	学会名	場所	発表日
小杉　道男、 中島　洋介、 小原　玲、 平井　慎太郎、 馬場　優人、 小林　裕章、 宮崎　保匡、 石田　勝	当院の精巣捻転手術症例31例からみた陰嚢痛における精巣捻転症とその認知度について.	第109回日本泌尿器科学会総会	横浜	2021年12月9日
石川　裕己、 小杉　道男、 小林　裕章、 宮崎　保匡、 石田　勝、 中島　洋介	当院における尿道外傷の初期治療と治療成績について.	第109回日本泌尿器科学会総会	横浜	2021年12月9日
大塚　祐希 市川　友理 深澤　正吾 千葉　真弘 滝本　千恵 中塚　逸央 中島　洋介	ハイフロー専用機VUN-001の性能評価	第59回全国自治体病院学会	奈良	2021年11月5日
福原　昇 田村　桂子 安田　弓子 山本　桂一 荒木　健宏 狩野　圭子 御嶽　秀介 小野　美歩 黒水　るみ子	KORTUC療法の初期臨床経験	第59回全国自治体病院学会	奈良	2021年11月5日
磯部　清 小菅　友也 久保　貴利 福原　昇	当院における全身拡散強調画像(DWIBS)検査	第59回全国自治体病院学会	奈良	2021年11月5日
小山　薫 亀山　直史 阿南　隆介 中垣　達 西成田　詔子 長谷川　華子 荒井　亮輔 中野　泰 谷口　正実 西尾　和三	Benralizumab 投与後に発熱、結節性紅斑、全身リンパ節腫脹を呈した難治性喘息の 1 例	第 247 回日本呼吸器学会関東地方会	東京	2021年11月6日
原田　裕子 小西　宏明 好本　達司 久保田　敬乃 嶋田　恭輔 小松　深雪	乳癌化学療法中に発症した心不全に対しイバブラジンを使用した一例	第４回日本腫瘍循環器学会学術集会	仙台（オンライン）	2021年10月14日
Yuko Harada	Neuronal Intranuclear Inclusion Disease (NIID) Caused 2-day Loss of Consciousness	3rd International Conference on Neurovascular and Neurodegenerative Diseases	Paris, France (virtual)	2021年11月9日
前田　麻実、 桑野　柚太郎、 金子　賢司、 河本　ひかり、 坂東　和香、 滝本　千恵	光学顕微鏡所見では膜性腎症が疑われたネフローゼ症候群の一例	第21回BRB Nephrology Conference	Web	2021年4月3日
野口　遼、 殿村　駿、 前田　麻実、 一條　真梨子、 滝本　千恵	徐脈頻脈症候群による失神をきたし、ペースメーカー留置した腹膜透析患者の一例	第27回日本腹膜透析医学会学術集会・総会	東京・Web	2021年10月30日

演者	演題名	学会名	場所	発表日
阿南　隆介 奥　佳代 栗原　夕子 鈴木　貴博	MRI全身拡張強調画像(Diffusion-weighted whole-body imaging with background signal suppression:DWIBS)が、診断、病勢評価、治療効果判定に有用であった全身性エリテマトーデス(SLE)の2例	第65回日本リウマチ学会学術集会・総会	神戸	2021年4月26日～4月28日
古川　果林 阿南　隆介 奥　佳代 栗原　夕子 鈴木　貴博	病勢評価、治療効果判定でSLEDASがSLEDAI-2Kより有用であった溶血性貧血を伴うSLEの2例	第65回日本リウマチ学会学術集会・総会	神戸	2021年4月26日～4月28日
奥　佳代 阿南　隆介 栗原　夕子 鈴木　貴博 長谷川　華子	Pembrolizumab投与でRS3PE症候群症状を呈した症例	第70回日本アレルギー学会学術大会	パシフィコ横浜	2021年10月9日
奥　佳代 古川　果林 今井　悠気 森　沙季子 小山　薫 中垣　達 亀山　直史 阿南　隆介 栗原　夕子 鈴木　貴博	間質性肺炎　腎機能障害　尿蛋白陽性　両下肢のしびれで発症した高齢MPAにリツキシマブで寛解導入しえた症例	第6回日本アレルギー学会関東支部地方会	秋葉原コンベンションホール	2021年11月27日
佐藤　真央、 雑賀　優鳥、 高窪　毅、 丹保　公成、 金澤　寧彦	Pembrolizumab投与後症候乏しく診断されたACTH単独欠損症の一例	臨床内分泌UPDATE2021	オンライン開催	2021年11月27日
柴田　滋文	移行を円滑に進めるための治療戦略 -都立小児医療センターの取り組み-	第117回日本精神神経学会総会　シンポジウム20 児童精神科から一般精神科へのトランジション	京都	2021年9月19日
梶谷　美砂、 秋本　香南、 増田　香織、 西　智弘、 石黒　浩史、 久保田　敬乃、 佐藤　恭子、 宮森　正	呼吸不全を呈した終末期患者に対する高流量鼻カヌラ(High Flow Nasal Cannula Therapy:HFNC) 酸素療法により呼吸困難感・QOL が改善され た 6 症例についての検討	第3回日本緩和医療学会 関東・甲信越支部学術大会	Web	2021年10月10日
早川　道太郎 鈴木　千尋 椎山　理恵 安西　秀美	躯幹皮下腫瘤の生検にて診断しえた皮膚転移を伴った肺大細胞神経内分泌癌の1例	第 897回日本皮膚科学会東京地方会, web 開催 , 2021.07.17.	Web	2021年7月17日
早川　道太郎 鈴木　千尋 朱　瀛瑤 安西　秀美	ステロイド長期外用患者の手背に生じた皮膚Mycobacterium abscessus subspecies abscessus感染症の1例	第 85回日本皮膚科学会東京支部学術大会 , 東京都 , 2021.11.	東京都	2021年11月13日-14日
早川　道太郎 鈴木　千尋 朱　瀛瑤 安西　秀美	コーヒー豆によるairborne contact dermatitisの1例	第 72回日本皮膚科学会中部支部学術大会 , 奈良県 , 2021.11.	奈良県	2021年11月20日-21日
朱　瀛瑤 鈴木　千尋 早川　道太郎 安西　秀美	若年女性の外陰部に生じた硬化性萎縮性苔癬の1例	第 899回日本皮膚科学会東京地方会 , web 開催 , 2021.12.18.	Web	2021年12月18日

演者	演題名	学会名	場所	発表日
西須　大徳, 臼田　頌, 池田　浩子, 村岡　渡	痛みセンターにおいて歯科医師の介入が有効であった下顎から肩部慢性疼痛の1例	第34回日本顎関節学会学術大会	Web	2021年10月23日
臼田　頌, 村岡　渡, 莇生田　整治, 河奈　裕正, 中川　種昭	医療アプリを活用して「顎関節症に起因する頭痛」を治療した1例	第34回日本顎関節学会学術大会	Web	2021年10月23日
横田　智恒、 浅野　崇浩、 木村　萌美、 矢島　祥助、 安居　真梨子、 落合　駿介、 遠藤　友樹、 吉川　桃子、 莇生田　整治、 村岡　渡	構音障害や摂食困難感を生じた舌対称性脂肪腫症の1例	第66回日本口腔外科学会総会・学術大会	Web	2021年11月12日
臼田　頌, 村岡　渡, 中川　種昭, 滝沢　翼	頭蓋周囲筋に対してアプローチを行った頭痛患者の検討	第49回日本頭痛学会総会	静岡	2021年11月20日
村岡　渡	シンポジウム１　「手術と神経障害」インプラント手術に伴う三叉神経ニューロパチーへの対応	第25回日本顎顔面インプラント学会総会・学術大会	名古屋	2021年12月11日
嶋田　恭輔 (ﾃﾞｨｽｶｯｻﾝﾄ)	『CDK4/6阻害薬の特徴を理解するために』	Lilly Breast Cancer Interactive Web Conference主催：日本イーライリリー株式会社	at Web配信	2022年5月17日
久保内　光一1 嶋田　恭輔2 佐藤　知美2,3 山根　沙英2 栗田　安里紗4 杜　雯林2 品川　俊人2 堤　寛5 よこはま乳腺・胃腸クリニック1 川崎市立井田病院2 川崎市立川崎病院3 湘南東部病院4 つつみ病理診断科クリニック5	『Neuroendocrine carcinoma18例の検討』 Poster 掲示	第29回日本乳癌学会学術総会	atパシフィコ横浜ノース	2022年7月11日
山根　沙英1 嶋田　恭輔1 久保内　光一2 伊藤　万里子 3 川崎市立井田病院乳腺外科1 よこはま乳腺・胃腸クリニック2 川崎市立井田病院検査科3	『肉芽腫性乳腺炎35例の検討　～Corynebacterium kroppenstedtiiの培養を踏まえて～』 Poster 掲示	第29回日本乳癌学会学術総会	atパシフィコ横浜ノース	2022年7月11日
伊藤　万里子1 嶋田　恭輔2 久保内　光一3 川崎市立井田病院検査科1 川崎市立井田病院乳腺外科2 よこはま乳腺・胃腸クリニック3	『当院での乳がん検診における超音波検診併用の検討』 Poster 掲示	第29回日本乳癌学会学術総会	atパシフィコ横浜ノース	2022年7月11日

演者	演題名	学会名	場所	発表日
嶋田　恭輔 （演者）	『HER2陽性乳癌の術前化学療法について』	横浜乳腺WEBカンファレンス 主催：中外製薬株式会社	at Web配信	2022年7月14日
嶋田　恭輔 (ﾃﾞｨｽｶｯｻﾝﾄ)	『HER2陽性乳癌における術前・術後の治療戦略』	横浜乳腺WEBカンファレンス 主催：中外製薬株式会社	at Web配信	2022年7月14日
嶋田　恭輔 （座長）	『HER2陽性進行再発乳癌の新たな治療戦略　―エンハーツの特徴と位置づけ―』	乳癌治療 UP TO DATE　主催：第一三共株式会社	at Web配信	2022年7月19日
嶋田　恭輔 （演者）	『イブランスの使用経験と副作用マネジメント』	ハイブリッドシンポジウム ファイザー乳がんサミット2021　主催：ファイザー株式会社	at Web配信	2022年7月21日
嶋田　恭輔 （座長）	『いま求められる緩和ケア』	Pfizer Breast Cancer Web Symposium in Kanagawa　主催：ファイザー株式会社	at Web配信	2022年8月4日
嶋田　恭輔 （座長）	『乳癌治療に関する最新情報』	神奈川 Breast Cancer Web Seminar　乳癌治療 エビデンスとコツ　主催：日本イーライリリー株式会社	at Web配信	2022年10月15日
嶋田　恭輔 (ﾃﾞｨｽｶｯｻﾝﾄ)	『乳癌の治療方針・FN管理について』	横浜北部・川崎エリア 乳がんガイドラインカンファレンス2021 主催：協和キリン株式会社	at Web配信	2022年11月16日
久保内　光一1, 2 上野　彩子1 川口　正春1, 3 井手　佳美2 保科　淑子2 嶋田　恭輔4 よこはま乳腺・胃腸クリニック1 菊名記念病院2 せやクリニック3 川崎市立井田病院4	『超音波検査検診C-3への対応ー診断C-4にする適応は？』 一般口演	第31回日本乳癌検診学会学術総会	At国立京都国際会館　Web配信	2022年11月26～27日
伊藤　万里子1 西岡　夢実1 丸山　礼佳2 嶋田　恭輔3 久保内　光一4 川崎市立井田病院検査科1 川崎市立井田病院診療放射線科2 川崎市立井田病院乳腺外科3 よこはま乳腺・胃腸クリニック4	『超音波乳がん検診カテゴリ判定の検討～エラストグラフィ評価および血流評価を踏まえて～』 Poster 掲示	第31回日本乳癌検診学会学術総会	At国立京都国際会館　Web配信	2022年11月26～27日
嶋田　恭輔 （座長）	『乳癌の放射線治療』	Pfizer Breast Cancer Web Symposium in Kanagawa　主催：ファイザー株式会社	at Web配信	2022年2月15日
嶋田　恭輔 （演者）	『時代のニーズに応える、乳がん手術の入院期間短縮・ 日帰り手術の適応について（外科医会推薦）』	第39回医学会　主催：川崎市医師会	at Web配信	2022年2月19日
宮武　環 南雲　美也子 池田　紗麻里 小松　深雪 太田　光彦 丹保　公成 原田　裕子	高度房室ブロック出現を契機に大動脈弁位人工弁感染を診断された一例	日本心エコー図学会　第32回学術集会	オンデマンド開催	2021年4月23日～4月25日

演者	演題名	学会名	場所	発表日
西岡　夢実 伊藤　万里子 嶋田　恭輔 中島　由紀子	授乳期乳腺炎が疑われるも、精査にて大胸筋膿瘍と診断し得た一例	第46回日本超音波検査学会学術集会	オンデマンド開催	2021年5月8日～6月13日
菊池　眸 伊藤　万里子 関根　由貴 佐々木　健太 小塙　修平 佐野　剛史	COVID-19患者受け入れ施設 としての当検査室の対応経験	第70回医学検査学会	オンデマンド開催	2021年5月15日～6月14日
伊藤　万里子 嶋田　恭輔 久保内　光一	当院での乳がん検診における超音波検診併用の検討	第29回日本乳癌学会学術集会	パシフィコ横浜ノース（ハイブリッド）	2021年6月30日～7月1日
矢野　佐知子 外山　高朗 藤間　有美 髙橋　加奈子 金　夏倫 阿南　隆介 品川　俊人 杜　雯林 定平　健 中村　直哉	クリオグロブリン血症性血管炎を契機に節性辺縁帯リンパ腫再発を診断した一症例	第22回日本検査血液学会	東海大学湘南キャンパス	2021年9月11日～12日
松本　麗 菊池　眸 高橋　加奈子 伊藤　万里子 佐野　剛史	イムノクロマト法を用いた･SARS-CoV-2抗原検出試薬の検討	第53回日本医療検査科学会	パシフィコ横浜	2021年10月8日
佐野　剛史	第21回サンプルサーベイ　結果解	第23回KEMS研究会 学術集会	ZOOM開催	2021年10月30日
川村　良治 鈴木　貴博 春成　学 阿南　隆介 三嶽　秀介 飯坂　政信 濱口　大之進	COVID-19流行期を想定した多数傷病者対応の検討	第59回自治体病院学会	奈良コンベンションセンター	2021年11月4～11月5日
伊藤　万里子 西岡　夢実 丸山　礼佳 嶋田　恭輔 久保内　光一	超音波乳がん検診カテゴリ判定の検討 ～エラストグラフィ評価および血流評価を踏まえて～	第31回日本乳癌検診検診学会学術集会	京都市国立京都国際会館（ハイブリッド）	2021年11月26日～11月27日
友野　一枝(HCU)	地域医療を守る～チームで挑む、再生と未来～ タイトル:COVID-19患者の看護―半腹臥位･腹臥位を実践して酸素化が改善した1事例―	第59回全国自治体病院学会	奈良県コンベンションｾﾝﾀｰ	2021年11月4日～5日
古舘　操（6東）	地域医療を守る～チームで挑む、再生と未来～ タイトル：内科混合病棟におけるエリア制導入までのプロセスとその効果	第59回全国自治体病院学会	奈良県コンベンションｾﾝﾀｰ	2021年11月4日～5日
三嶽　秀介	心筋シンチにおける読影AIの使用経験	第59回全国自治体病院学会	奈良	2021年11月15日
磯部　清	当院における全身拡散協調画像(DWBIS)検査	第59回全国自治体病院学会	奈良	2021年11月15日
柳井田　恭子 （管理室）	働きやすい職場づくり	第52回日本看護学会学術集会（オンライン開催）	（朱鷺メッセ）	2021年11月18日～19日
敦賀谷小百合 （7西）	働きやすい職場づくり	第52回日本看護学会学術集会（オンライン開催）	（朱鷺メッセ）	2021年11月18日～19日
大嶋　莉亜 （4西）	人工膝関節置換術後の患者への排泄セルフケアに関する関わり	令和３年度　看護研究・活動報告会	川崎市ナーシングセンター	2022年2月25日
石川　美穂 （4西）	ADLが低下した患者の生活リズムを考慮した退院支援	令和３年度　看護研究・活動報告会	川崎市ナーシングセンター	2022年2月25日

演者	演題名	学会名	場所	発表日
髙橋　はるか （3西）	がん看護緩和ケア班リンクナースとしての活動報告 ー看護師のグリーフケアの支援としてのデスカンファレンスの取り組みについてー	令和３年度　看護研究・活動報告会	川崎市ナーシングセンター	2022年2月25日
松尾　京子 （緩和ケア）	AYA世代がん患者のケアに関連した看護師の戸惑いを振り返って	令和３年度　看護研究・活動報告会	川崎市ナーシングセンター	2022年2月25日
柳田　ひとみ （緩和ケア）	終末期患者のスピリチュアルペインへの関わりを通してープロセスレコードを用いた事例研究ー	令和３年度　看護研究・活動報告会	川崎市ナーシングセンター	2022年2月25日
濵口　大之進 （7西）	～災害医療のパラダイムシフト～ タイトル：透析センターにおける災害訓練の実施報告　-初動対応の確立に向けて-	第27回日本災害医学会総会・学術集会	広島国際会議場他	2022年3月3日～5日

３ 講演・講師派遣

演者	演題名	会合名	場所	年月日
中島　洋介（座長）	Jeremy B. Myers Renal trauma: Guidelines and recent research from the multi-institutional genitourinary trauma study.	第109回日本泌尿器科学会総会	横浜	2021年12月9日
鈴木　貴博（座長）	萩山　裕之 関節リウマチ・膠原病の病態・治療	第8回SKAR研究会	病院2階会議室ハイブリッド形式	2021年6月4日
鈴木　貴博	Closing Remarks	第2回Rheumatology JAK Expert Meeting in Kawasaki	川崎市コンベンションホール Web形式	2021年6月11日
鈴木　貴博	CBRNE災害について	令和３年度神奈川県災害時医療救護活動研修会	横浜市(県庁)	2021年9月2日
鈴木　貴博	災害医療の基本　災害医療の概論・災害医療の原則	令和3年度かながわDPAT研修	Web	2021年12月11日
原田　裕子	透析患者の心不全管理について	透析患者の心不全治療について考える会	オンライン	2021年4月7日
原田　裕子	慢性心不全の心拍管理～イバブラジンの適正症例を考える～	慢性心不全の心拍管理を考える会	オンライン	2021年4月28日
原田　裕子	イバブラジンの有用性	CORALAN Remote Seminar	オンライン	2021年6月16日
原田　裕子	当院入院導入で経験したARNIの症例	KAWASAKI ARNI Web Live Symposium	オンライン	2021年9月1日
原田　裕子	慢性心不全患者におけるSGLT-2阻害剤投与の有用性	川崎市SGLT-2阻害剤セミナー	オンライン	2021年9月8日
Yuko Harada（座長）	Diagnosis and Evaluation: Stroke and other Neurovascular Disorders	3rd International Conference on Neurovascular and Neurodegenerative Diseases	Paris, France (virtual)	2021年11月9日
原田　裕子（座長）	心房細動と脳卒中	病診連携懇話会 WEB セミナー	オンライン	2022年2月14日
佐藤　恭子	E-learningの復習・質問	がん診療に携わる医師に対する緩和ケア研修会	川崎病院	2021年11月7日
久保田　敬乃	がん疼痛事例検討	がん診療に携わる医師に対する緩和ケア研修会	川崎病院	2021年11月7日
久保田　敬乃、梶谷　美砂、佐藤　恭子、夏　錦言	ロールプレイングによる演習、グループ演習	がん診療に携わる医師に対する緩和ケア研修会	川崎病院	2021年11月7日
徳納　健二	がん医療におけるコミュニケーション	がん診療に携わる医師に対する緩和ケア研修会	川崎病院	2021年11月7日
久保田　敬乃	在宅ケアを巡る問題提起と井田病院の在宅ケアの取り組み	慶應義塾大学健康マネジメント研究科オンライン授業	Web	2021年9月13日
増田　香織	コロナ禍における緩和ケア病棟の在り方	在宅の緩和ケアを考えるwebセミナー	Web	2021年11月25日
秋本　香南	AYA世代の患者の在宅看取り「医師の立場から」	第1回川崎市立井田病院かわさき在宅ケア・緩和ケア症例検討会	井田病院	2021年12月16日

演者	演題名	会合名	場所	年月日
深井　清乃	AYA世代の患者の在宅看取り「看護師の立場から」	第1回川崎市立井田病院かわさき在宅ケア・緩和ケア症例検討会	井田病院	2021年12月16日
久保田　敬乃	がん性疼痛治療薬の基礎と応用	第1回川崎市立井田病院緩和ケアスキルアップ・フォローアップ研修会	井田病院	2021年5月20日
鈴木　果里奈	がんサポートチームの活動について	第1回川崎市立井田病院緩和ケアスキルアップ・フォローアップ研修会	井田病院	2021年5月20日
佐藤　恭子	がん患者の呼吸器症状の緩和	第2回川崎市立井田病院緩和ケアスキルアップ・フォローアップ研修会	井田病院	2021年10月21日
梶谷　美砂	NHFを緩和ケア病棟で使用した症例	第2回川崎市立井田病院緩和ケアスキルアップ・フォローアップ研修会	井田病院	2021年10月21日
福島　沙紀	緩和ケアにおけるこころのケア「傾聴しても変わらない患者への対応を考える」	第3回川崎市立井田病院緩和ケアスキルアップ・フォローアップ研修会	井田病院	2021年11月18日
福原 昇	緩和的放射線治療について	第4回川崎市立井田病院緩和ケアスキルアップ・フォローアップ研修会	井田病院	2022年3月17日
滝本　千恵（講師）	末期腎不全（透析導入）患者さんの現状と対応	Cardio Renal Expert Meeting	川崎・Web	2021年6月7日
滝本　千恵（座長）	高カリウム血症の現状と課題	ロケルマ　オンラインシンポジウム	川崎・Web	2021年6月21日
滝本　千恵（座長）	患者に寄り添った多発性嚢胞腎の診療	ADPKD Webセミナー	川崎・Web	2021年10月25日
滝本　千恵（司会）	教育講演21「腹膜透析における訪問看護ステーションの役割」	第27回日本腹膜透析医学会学術集会・総会	川崎・Web	2021年10月31日
滝本　千恵（講師）	血圧管理の重要性　脳・心・腎疾患	連携懇話会 Webセミナー	川崎・Web	2021年11月8日
滝本　千恵（講師）	慢性腎臓病と生活習慣	第117回腎臓病講座	川崎	2022年3月12日
金澤　寧彦	血糖コントロールに係る薬剤投与関連「インスリン投与量の調整の実際」	日本看護協会　看護研修学校糖尿病看護学科　認定看護師講義	東京都清瀬市梅園1-2-3日本看護協会看護研修学校	2021年9月10日
村岡　渡	日本口腔顔面痛学会、口腔顔面痛ベーシックセミナー2021	日本口腔顔面痛学会主催口腔顔面痛ベーシックセミナーWEB2021	Web	2021年7月9日
村岡　渡	口腔顔面痛診療 Up To Date 口腔顔面痛 評価・診断・治療	厚生労働省慢性疼痛診療システム普及・人材養成モデル事業関東甲信越地区 慶應義塾大学 慢性疼痛診療研修会	東京	2021年8月28日
村岡　渡	臨床診断推論実習　症例提示①	日本口腔顔面痛学会主催口腔顔面痛診断実習セミナーWEB2021	Web	2022年1月23日
村岡　渡	顎関節症の痛みと薬物療法（急性痛と慢性痛の対応の違いなど）	第53回日本顎関節学会学術講演会	Web	2022年2月13日

演者	演題名	会合名	場所	年月日
村岡　渡	抜歯後に痛みを生じる口腔外科的病態を考える	日本口腔顔面痛学会主催 神経障害性疼痛関連歯科学会合同シンポジウム	Web	2022年3月13日
中島　由紀子	COVID-19	慶應義塾大学健康マネジメント研究科オンライン授業	Web	2021年9月13日
中島　由紀子	「最近の感染症情報と感染管理について」	川崎市看護協会技術研修	川崎	2021年10月9日
中島　由紀子	コロナ患者を受けいれてみて	第９回かわさき救急フォーラム	Web	2021年12月15日
福島　貴子	新型コロナウィルス感染症対策	商工会議所	商工会議所	2021年5月17日
福島　貴子	新型コロナウィルス感染症対策	梅の木保育園	梅の木保育園	2021年6月30日
福島　貴子	新型コロナウィルス感染症対策	商工会議所	商工会議所	2021年9月9日
福島　貴子	新型コロナウィルス感染症対策	中原老人福祉センター	中原老人福祉センター	2021年11月17日
福島　貴子	新型コロナウィルス感染症対策	社会福祉協議会	社会福祉協議会	2021年11月30日
福島　貴子	新型コロナウィルス感染症対策	川崎市競馬場	川崎市競馬場	2021年12月15日
福島　貴子	新型コロナウィルス感染症対策	こども園	こども園	2021年12月22日
森田　純子	新型コロナウィルス感染症対策	川崎商工会議所	商工会議所	2022年3月11日
佐藤　弘康	「泌尿器領域の細胞診症例」提示	神奈川県臨床検査技師会　細胞検査研究班セミナー	オンライン	2021年6月26日
佐藤　弘康	「病院における臨床検査技師と今の学生に伝えたいこと」	北里大学保健衛生専門学院『学生研修における講演』	新潟	2021年9月8日
小林　岳	ビギナーのためのTDM～バンコマイシン編～	神奈川県病院薬剤師会、令和3年度TDM研修会	Web	2021年12月1日
丸山　礼佳	DR画像のきほんのキホンの基本～臨床上の注意点～	日本放射線技術学会　関東DR研究会	東京	2021年9月25日
吉野　秀佳	幸区ロジスティックス研修	幸区ロジスティックス研修	幸区役所	2021年12月9日
吉野　秀佳	訓練コントローラー	川崎市南部地域訓練	井田病院	2021年12月12日
小菅　友也	当院のDWBIS検査における画像処理の効率化	DWBIS放射線治療分科会	東京	2022年1月6日
丸山　礼佳	DR画像のきほんのキホンの基本～深層学習～	日本放射線技術学会　関東DR研究会	東京	2022年1月29日

演者	演題名	会合名	場所	年月日
吉野　秀佳	訓練コントローラー	神奈川DMAT-L養成研修	神奈川 総合防災 センター	2022年2月25日
亀山　亜希夫	おせっかいおじさんのミニ講座 作ってみよう！とろみ飲料、ゼリー飲料	幸区在宅療養推進協議会 川崎南部摂食嚥下栄養研究会	Web	2021年12月17日
亀山　亜希夫	健康寿命を延ばす食生活	川崎市高津老人福祉地域交流センター	川崎市高津老人福祉地域交流センター	2022年3月9日
生稲　麻紀子	点滴・静脈内注射、採血について	未就業看護師等復職支援研修	川崎市ナーシングセンター研修室	2021年7月1日 2021年10月28日
柳井田　恭子	「セカンドレベル学びの活用」　演習	認定看護管理者教育課程セカンドレベル	神奈川県看護協会　第２研修室	2021年9月16日
柳井田　恭子	新人実施指導者研修 指導プログラム立案・運営・評価	川崎市看護職員指導者研修	川崎市ナーシングセンター研修室	2021年9月28日
牛込　志乃	高齢者福祉施設で働く看護師の 褥瘡ケア	川崎市老人福祉施設事業協会 看護職員研修	てくのホール （てくのかわさき２階）	2021年10月27日
曽我部　雅代	「認知症看護に必要な専門的知識・技術を有する看護師を養成する」	「認知症看護に必要な専門的知識・技術を有する看護師を養成する」研修会	川崎市ナーシングセンター研修室	2021年11月4日
宮﨑　奈々	フィジカルアセスメント演習	２０２１年度特定行為研修	日本看護協会 看護研修学校	2022年2月28日

Ⅵ　研修・実習

1　研修会

（1）放射線診断科

開催日		名　　称	学会・実施機関等
自	至		
4月15日		第77回日本放射線技術学会総会学術大会	日本放射線技術学会
4月18日		第82回放射線治療部会	日本放射線技術学会治療部会
5月18日		神奈川県医学研究会　定例研究会	神奈川県医学研究会
5月29日		第41回日本登山医学会学術集会	日本登山医学会学術集会
6月1日		第14回核医学専門技師研修セミナー	日本核医学専門技師認定機構
6月3日		第3回DWIBIS放射線治療研究会	Body DWI研究会
6月5日		神奈川PET･SPECT研究会	神奈川PET･SPECT研究会
6月12日		第14回心・血管撮影技術 基礎教育セミナー	循環器画像技術研究会
6月25日		第1回神奈川県放射線治療技術研究会	神奈川県放射線治療技術研究会
6月26日		第146回放射線治療かたろう会	放射線治療かたろう会
6月30日		第29回GE CT研究会	CT研究会
7月3日		心臓核医学研究会	心臓核医学研究会
7月18日		第7回血管撮影教育セミナー	関東アンギオ研究会
7月20日		神奈川核医学研究会　定例研究会	神奈川核医学研究会
8月2日		第31回川崎市乳がん検診画像講習会	川崎市医師会
8月5日		総務省統計研究研修 「初めて学ぶ統計」	総務省統計研究研修所
8月19日		2021年度放射線治療認定教育セミナー	日本放射線治療専門放射線技師認定機構
8月20日		心臓核医学web読影会	富士フィルム富山化学

開催日		名　　称	学会・実施機関等
自	至		
8 月 20 日		総務省統計研究研修 「データサイエンス入門」	総務省統計研究研修所
8 月 20 日		バイエル画像診断 WEB カンファレンス	バイエル薬品株式会社
8 月 23 日		総務省統計研究研修 「統計担当者向け入門」	総務省統計研究研修所
8 月 27 日		総務省統計研究研修 「データサイエンス演習」	総務省統計研究研修所
8 月 28 日		医学物理サマーセミナー2021	日本医学物理学会
8 月 30 日		バイエル画像診断 MRI 検査の リスクマネジメント	バイエル薬品株式会社
8 月 30 日		総務省統計研究研修 「統計データのできるまで基礎①」	総務省統計研究研修所
9 月 2 日		DWBIS 第 4 回放射線治療分科会	DWBIS 研究会
9 月 5 日		総務省統計研究研修 「統計データのできるまで基礎②」	総務省統計研究研修所
9 月 14 日		神奈川核医学研究会　定例研究会	神奈川核医学研究会
9 月 16 日		CT における造影剤の安全使用	富士製薬工業株式会社
9 月 16 日		第 11 回フィリップス画像診断 Web セミナー	株式会社フィリップス・ジャパン
9 月 29 日		第 1 回 SunCHECK ユーザー会	東洋メディック
10 月 3 日		放射線業務従事者の教育訓練	神奈川県放射線管理士部会
10 月 9 日		第 36 回神奈川乳腺疾患症例検討会	神奈川乳腺疾患症例検討会
10 月 9 日		Step into the future withcinfidence	株式会社フィリップス・ジャパン
10 月 9 日		第 16 回 Imaging Now Kanagawa	バイエル薬品株式会社
10 月 9 日		造影 MRI 検査のリスクマネジメント	バイエル薬品株式会社 キヤノンメディカル
10 月 15 日	10 月 17 日	第 49 回日本放射線技術学会秋季学術大会	日本放射線技術学会

開催日		名　　称	学会・実施機関等
自	至		
10月16日		令和 3 年度 実践的放射線治療人材育成セミナーPython 講習会(物理士・技師編)	広島がん高精度放射線治療センター
10月17日		第83回放射線治療部会	日本放射線技術学会治療部会
10月24日		令和3年度神奈川放射線技術講習会	神奈川県放射線技師会
10月29日		MRI 時間的短縮技術カンファレンス	埼玉MRIカンファレンス
11月5日		第50回全国自治体病院学会	全国自治体病院学会
11月6日		これからの乳がん検診と ステレオガイド下VAB	株式会社メディコン
11月6日		第10回JBMP放射線治療品質管理講習会	医学物理士認定機構
11月6日		第10回JMCP医学物理講習会	医学物理士認定機構
11月9日		心臓イメージング研究会	メジフィジックス株式会社
11月12日		GRE法の基礎、ケミカルシフト アーチファクト	神奈川MRI技術研究会
11月12日		第37回日本診療放射線技師会技術学会	日本診療放射線技師会
11月21日		令和3年度神奈川放射線技術講習会	神奈川県放射線技師会
12月18日		2021年度関東DR研究会 データ取得セミナー	関東Angio研究会
12月28日		診療放射線技師法改正に伴う告示研修	日本診療放射線技師会
1月8日		2021年度第3回関東Angio研究会	関東Angio研究会
1月16日		令和3年度神奈川放射線技術講習会	神奈川県放射線技師会
1月16日		第5回日本X線CT専門技師 認定機構講習会	日本X線CT専門技師認定機構
1月21日		2021年度第31回放射線治療 品質管理機構講習会	放射線治療品質管理機構講習会
2月5日		心筋虚血・心機能評価	メジフィジックス株式会社

開催日		名　　称	学会・実施機関等
自	至		
2 月 12 日		第 70 回神奈川 CT 研究会	神奈川 CT 研究会
2 月 13 日		令和 3 年度神奈川放射線技術講習会	神奈川県放射線技師会
3 月 10 日		放射線取扱主任者定期講習	原子力安全技術センター
3 月 19 日		令和 3 年度 実践的放射線治療人材育成セミナー リニアックの品質管理講習会	広島がん高精度放射線治療センター

（2）検査科

開催日		名　　称	学会・実施機関等
自	至		
4 月 2 日		横浜心エコーweb セミナー	ファイザー株式会社
4 月 23 日	4 月 25 日	日本心エコー図学会　第 32 回学術集会	日本心エコー図学会
4 月 24 日		心電学関連春季大会 2021	日本不整脈心電学会
5 月 1 日		日本食品安全協会 健康食品管理士研修会	日本食品安全協会
5 月 8 日	5 月 9 日	第 46 回日本超音波検査学会学術集会	日本超音波検査学会
5 月 15 日	6 月 14 日	第 70 回　日本医学検査学会	日本臨床衛生検査技師会
5 月 23 日		血液培養と菌血症サミット	ベクトンディッキンソン
5 月 26 日		4 月から血液検査を始めた方に贈るデータの見方考え方	日本血液同好会
6 月 5 日		日本検査血液学会初夏セミナー	日本検査血液学会
6 月 26 日		マスギャザリングにおける救急･災害医療	神奈川県医師会
7 月 24 日		cSound Special Webinar	GE
7 月 28 日		国際モダンホスピタルショウ 2021	日本病院会
7 月 28 日		救急医療における腹部のPOCUS	GE

開催日		名　　称	学会・実施機関等
自	至		
8 月 1 日	9 月 30 日	認定救急検査技師制度　指定講習会	日本臨床衛生検査技師会
8 月 1 日		認定病理指定講習会	日本臨床検査技師会
8 月 9 日	9 月 15 日	循環器バイオマーカーの日常診療への活用	LSI メディエンス
8 月 14 日		SARS-Cov-2 抗原定量検査 Up to Date	H.U.フロンティア株式会社
8 月 20 日	9 月 6 日	第 81 回　細胞検査士教育セミナー	日本臨床細胞学会
9 月 11 日	9 月 12 日	第 22 回日本検査血液学会学術集会	日本検査血液学会
9 月 11 日	9 月 12 日	第 22 回　日本検査血液学会学術集会	日本検査血液学会
10 月 5 日		災害･救急医療 Online Conference	アストラゼネカ
10 月 8 日	10 月 10 日	日本医療検査科学会第 53 回大会	日本医療検査科学学会
10 月 25 日	11 月 4 日	富士フィルムメディカルWEBセミナー2021	富士フィルムメディカル
10 月 26 日	10 月 26 日	cSound Web seminar	GEヘルスケア
10 月 30 日		第 23 回 KEMS 研究会学術集会	KEMS 研究会
11 月 4 日	11 月 5 日	第 59 回全国自治体病院学会	全国自治体病院協議会
11 月 10 日		横浜乳腺画像診断勉強会	アストラゼネカ
11 月 13 日		信濃町心エコーカンファレンス web 講習会 2021 抄録集	信濃町心エコーカンファレンス、沢井製薬株式会社
12 月 3 日		第 2 回横浜北部心アミロイドーシス WEB 講演会	ファイザー株式会社
12 月 7 日		不規則抗体同定試験の進め方	バイオラッド・ラボラトリーズ株式会社
12 月 11 日	1 月 26 日	ヒューマンエラーのない輸血医療を目指して	日本臨床衛生検査技師会
12 月 13 日	12 月 13 日	日本乳がん検診学会	日本乳がん検診学会

開催日		名　　称	学会・実施機関等
自	至		
12月14日		cSound Web seminor	GEヘルスケアジャパン
12月18日		第58回日本臨床神経生理学会技術者講習会	日本臨床神経生理学会
1月14日		自治体総合フェア　特別記念公演	医療福祉研究会事務局
1月15日	1月15日	第16回　神奈川県合同輸血療法委員会	神奈川県合同輸血療法委員会
1月22日	1月22日	第19回生理検査精度管理調査報告会	一般社団法人日本臨床衛生検査技師会
2月11日		第38回糖尿病セミナー	神奈川県保険医協会
2月18日	2月27日	血管エコーセミナー	GEヘルスケアジャパン
2月27日		第22回神奈川県糖尿病療養指導士研究会研修会	神奈川県糖尿病療養指導士研究会
3月13日	3月13日	日本検査血液学会冬季セミナー	日本検査血液学会

（3）薬剤部

開催日		名　　称	学会・実施機関等
自	至		
5月7日	5月9日	第69回日本化学療法学会総会	日本化学療法学会
5月13日		令和3年度第1回神奈川がん薬物療法・専門薬剤師セミナー	神奈川県病院薬剤師会
5月13日	5月16日	第14回　日本緩和医療薬学会年会	日本緩和医療薬学会
7月1日	7月16日	公認 スポーツファーマシスト基礎講習会	日本アンチドーピング機構
7月3日		令和3年度感染制御専門薬剤師講習会	日本病院薬剤師会
7月10日	7月18日	第4回 日本病院薬剤師会 Future Pharmacist Forum	日本病院薬剤師会
7月20日		令和3年度ファーマシーマネジメントセミナー	神奈川県病院薬剤師会

開催日		名　　称	学会・実施機関等
自	至		
8月24日		2021年度第1回感染領域専門・認定薬剤師養成講習会	神奈川県病院薬剤師会
8月24日		JASPO Essentinal Seminer Neo 2021 A	日本臨床腫瘍薬学会
8月24日		JASPO Essentinal Seminer Neo 2021 B	日本臨床腫瘍薬学会
8月28日	9月5日	日本病院薬剤師会　関東ブロック第51回学術大会	日本病院薬剤師会
9月9日		第2回　県病薬がん薬物療法・専門薬剤師セミナー	神奈川県病院薬剤師会
9月11日	9月12日	第9回　日本くすりと糖尿病学会　学術集会	日本くすりと糖尿病学会
9月19日	9月20日	第36回日本環境感染学会総会・学術集会	日本感染学会
9月22日	9月27日	JASPO Essentinal Seminer Neo 2021 C-program	日本臨床腫瘍薬学会
10月9日	10月10日	第31回日本医療薬学会年会	日本医療薬学会
10月27日	10月29日	第70回日本感染症学会東日本地方会学術集会/第68回日本化学療法学会東日本支部総会　合同学会	日本化学療法学会・日本感染症学会
11月1日	1月6日	令和3年度　がん専門薬剤師集中講座	日本病院薬剤師会
11月6日	11月7日	第15回　日本腎臓病薬物療法学会学術集会	日本腎臓病薬物療法学会
11月11日		11月薬学合同研修会	神奈川県病院薬剤師会
11月15日	11月21日	2021年度　スポーツファーマシスト実務講習会・確認試験	日本アンチドーピング機構
12月1日		TDM研修会	神奈川県病院薬剤師会
12月3日		川崎感染症セミナー2021	製薬企業/KAWASAKI地域感染制御協議会
1月15日		2021年度　スポーツファーマシスト実務講習	日本アンチドーピング機構
1月21日		療養病床対象研修会	神奈川県病院薬剤師会

開催日		名　　称	学会・実施機関等
自	至		
2月14日		第18回神奈川循環器薬剤師フォーラム	製薬企業
3月12日	3月13日	第11回　日本臨床腫瘍薬学会学術大会	日本臨床腫瘍薬学会

（4）看護部

開催日		名　　称	学会・実施機関等
自	至		
5月14日		認定看護師　認知症看護分野	湘南医療大学看護実践センター
5月7日	8月27日	認定看護管理者教育課程ファーストレベル	国際医療福祉大学看護生涯学習センター
5月14日	12月24日のうち35日間	認定看護管理者教育課程サードレベル	国際医療福祉大学看護生涯学習センター
6月1日		看護学生とともに育つ臨地実習指導	神奈川県看護協会
6月14日	6月15日	リンクナースのための感染管理	神奈川県看護協会
6月21日	6月22日	認知症高齢者の看護実践に必要な知識①	神奈川県看護協会
7月9日		看護記録の向上を目指して～形式監査・質監査～	神奈川県看護協会
7月12日		地域包括ケアシステムにつなげる入退院支援①	神奈川県看護協会
7月14日		リスクセンスを高める（基礎編）～ベッドサイドで行う安全対策～	神奈川県看護協会
7月16日		感染防止対策の基本～感染の拡大を防ぐ～	神奈川県看護協会
7月30日		事例から学ぼう褥瘡ケアの実際①	神奈川県看護協会
8月9日	9月4日	認定看護管理者教育課程ファーストレベル	聖路加国際大学　教育センター
9月3日・8日		リスクセンスを高める（応用編）	神奈川県看護協会
9月6日		在宅療養に向けた看護～訪問看護との連携～	神奈川県看護協会

開催日		名　　称	学会・実施機関等
自	至		
9月15日		わかりやすい栄養管理	神奈川県看護協会
10月1日	2月25日	認定看護管理者教育課程セカンドレベル	神奈川県看護協会
10月18日・22日		がん患者の看護～診断から看取りまで～	神奈川県看護協会
10月19日・20日		高齢者支援と認知症患者の支援①	神奈川県看護協会
10月28日		地域連携のための相互研修	神奈川県看護協会
10月30日		チーム運営に必要なリーダーシップ①	神奈川県看護協会
11月1日		実践に活かす糖尿病の最新知識	神奈川県看護協会
12月7日		フィジカルアセスメント（基礎編）～看護実践に活かすフィジカルアセスメント②～	神奈川県看護協会
1月20日		家族看護～患者・家族を理解し支援するために～	神奈川県看護協会
2月5日		相手と私のアンガーマネジメント	神奈川県看護協会
2月15日・16日		高齢者支援と認知症患者の看護②	神奈川県看護協会
2月19日	2月20日	第３６回神奈川ストーマリハビリテーション講習会	神奈川県ストーマ研究会
2月20日		フィジカルアセスメント（応用編）	神奈川県看護協会

（５）食養科

開催日		名　　称	学会・実施機関等
自	至		
4月17日		第26回神奈川摂食嚥下リハビリテーション研究会研修会	神奈川摂食嚥下リハビリテーション研究会
5月20日	5月22日	第64回日本糖尿病学会年次学術集会	日本糖尿病学会
6月16日		神奈川県医療専門職連合会講演会	神奈川県医療専門職連合会

開催日		名　　称	学会・実施機関等
自	至		
6月18日		川崎市病院栄養管理部会研修会	川崎市病院栄養管理部会
7月14日		Liver Disease Web Seminar	大塚製薬株式会社
7月1日	8月31日	全国栄養士大会オンライン	日本栄養士会
9月25日		神奈川県栄養士会医療事業部会研修会	神奈川県栄養士会医療事業部会
10月1日	10月31日	2021年度がん病態栄養セミナー	大塚製薬株式会社
10月8日		ヘルシーネットワークセミナー	株式会社ヘルシーネットワーク
10月16日		Otsuka Nuturition Webinar	大塚製薬株式会社
10月23日		第27回神奈川摂食嚥下リハビリテーション研究会研修会	神奈川摂食嚥下リハビリテーション研究会
11月8日		川崎市病院栄養管理部会研修会	川崎市病院栄養管理部会
11月24日		神奈川県医療専門職連合会職能セミナー	神奈川県医療専門職連合会
12月11日		川崎市病院協会市民公開講座	川崎市病院協会
1月28日	1月30日	第24・25回日本病態栄養学会年次学術集会	日本病態栄養学会
2月24日		Otsuka Nuturition Webinar	大塚製薬株式会社
2月27日		第22回神奈川県糖尿病療養指導研究会研修会	神奈川県糖尿病療養指導研究会
3月20日		神奈川県栄養士会医療事業部会オンラインサロン	神奈川県栄養士会医療事業部会
3月25日		第7回ヘルシーフードWEBセミナー	株式会社ヘルシーネットワーク
3月30日		神奈川県栄養士会医療事業部会オンラインサロン	神奈川県栄養士会医療事業部会

（6）リハビリテーションセンター

開催日		名　　称	学会・実施機関等
自	至		
4月16日	5月30日	第33回日本ハンドセラピィ学会学術集会	日本ハンドセラピィ学会
4月17日		第26回神奈川県摂食嚥下リハビリテーション研究会	神奈川県摂食嚥下リハビリテーション研究会
6月19日	6月20日	第22回言語聴覚士学会	日本言語聴覚士協会
6月19日	6月20日	第27回日本心臓リハビリテーション学術集会	日本心臓リハビリテーション学会
7月3日	7月4日	第43回日本呼吸療法医学会学術集会	日本呼吸療法医学会
7月30日		第55回日本理学療法学術研修大会	日本理学療法士協会
8月19日	8月21日	第26、27回日本摂食嚥下リハビリテーション学会合同学術大会	日本摂食嚥下リハビリテーション学会
8月29日		第7回糖尿病理学療法学会	日本糖尿病理学療法学会
9月10日	10月17日	第55回日本作業療法学会	日本作業療法士協会
10月1日	10月3日	第25回日本心不全学会学術集会	日本心不全学会
10月2日		第4回がん理学療法部門研究会	日本理学療法士協会
10月23日		第27回神奈川県摂食嚥下リハビリテーション研究会	神奈川県摂食嚥下リハビリテーション研究会
10月23日		2021年度静岡がんのリハビリテーション研修会	静岡県立静岡がんセンター
11月6日	11月7日	第8回日本サルコペニア･フレイル学会学術大会	日本サルコペニア・フレイル学会
11月12日	11月13日	第31回日本呼吸ケア・リハビリテーション学会学術集会	日本呼吸ケア・リハビリテーション学会
11月20日		がんのリハビリテーション研修　E-CAREER	ライフ・プランニング・センター
12月4日	12月26日	第18回神奈川県作業療法学会	神奈川県作業療法士会
12月9日	12月10日	第45回日本高次脳機能障害学会学術総会	日本高次脳機能障害学会
3月18日	3月20日	第49回日本集中治療医学会学術集会	日本集中治療医学会

（7）地域医療部・在宅緩和ケアセンター

開催日		名　　称	学会・実施機関等
自	至		
6月2日		第1回神奈川県がん相談員研修会「小児･AYA 世代がん患者等に対する妊孕性温存研究推進事業研修会」	神奈川県がん診療連携協議会相談支援部会
6月21日	6月22日	認知症高齢者の看護実践に必要な知識	神奈川県看護協会
7月12日		地域包括ケアシステムにつなげる入退院支援	神奈川県看護協会
8月1日		2021年がん相談支援センター相談員継続研修	国立がんセンター
9月6日		在宅療養に向けた看護　訪問看護との連携	神奈川県看護協会
10月28日	12月8日	地域連携のための相互研修会シリーズ	神奈川県看護協会
12月15日		第３回神奈川県がん相談員研修会「がんゲノム医療と相談支援　基礎知識を学び相談員の役割を考える」	神奈川県がん診療連携協議会相談支援部会
1月20日		家族看護～患者・家族を理解し支援するために～	神奈川県看護協会
2月5日	2月27日	医療対話推進者養成セミナー各論	日本医療機能評価機構
2月15日		第4回神奈川県がん相談員研修会「withコロナ時代のがん相談支援センターの運用を考える」	神奈川県がん診療連携協議会相談支援部会
2月27日		在宅チーム医療を担う　地域リーダー研修	川崎市在宅療養推進協議会

２　実習指導

（１）食養科

期　間	実　習　指　導　名	学　校　名	人　数
2 月 25 日	神奈川工科大学　症例実習	神奈川工科大学	4

（２）薬剤部

期　間	実　習　指　導　名	学　校　名	人　数
5 月 24 日～8 月 8 日	病院実務実習	横浜薬科大学	1
8 月 23 日～11 月 7 日	病院実務実習	慶応義塾大学	1
8 月 23 日～11 月 7 日	病院実務実習	横浜薬科大学	1

（３）看護部

期　間	実　習　指　導　名	学　校　名	人　数
5 月 10 日～7 月 2 日	老年看護学実習 (1クール～4クール)	川崎私立看護短期大学	44 名
5 月 31 日～6 月 2 日	基礎看護実践論Ⅱ-A	神奈川県立衛生看護専門学校	6 名
6 月 17 日～6 月 18 日	看護学概論	東京医療保健大学	6 名
6 月 22 日～7 月 2 日	統合実習 （１クール～２クール）	武蔵野大学	12 名
7 月 6 日～7 月 21 日	成人看護実践論Ⅰ	神奈川県立衛生看護専門学校	6 名
7 月 13 日～7 月 29 日	成人看護実習Ⅰ （１クール～２クール）	川崎私立看護短期大学	27 名
7 月 12 日～7 月 15 日	基礎看護学実習Ⅱ	横浜中央看護専門学校	5 名
11 月 22 日～12 月 16 日	成人看護実習Ⅱ （１クール～２クール）	川崎私立看護短期大学	29 名
11 月 22 日～12 月 8 日	統合実習	神奈川県立衛生看護専門学校	4 名
合計			139 名

（４）教育指導部

期　間	実　習　指　導　名	学　校　名	人　数
４月 12 日～４月 23 日	内科アドバンスト （リウマチ科）	慶應義塾大学	1
５月 10 日～５月 21 日	内科アドバンスト （呼吸器内科）	慶應義塾大学	1
５月 10 日～５月 21 日	内科アドバンスト （腎臓内科）	慶應義塾大学	1
６月７日～６月 18 日	内科アドバンスト （リウマチ科）	慶應義塾大学	1
６月７日～６月 18 日	内科アドバンスト （腎臓内科）	慶應義塾大学	1
７月５日～７月 16 日	内科アドバンスト （リウマチ科）	慶應義塾大学	1
７月 19 日～７月 30 日	地域基盤型臨床実習 （緩和ケア内科）	慶應義塾大学	1
２月 14 日～３月４日	地域基盤型臨床実習 （腎臓内科）	慶應義塾大学	1
２月 14 日～３月４日	地域基盤型臨床実習 （整形外科）	慶應義塾大学	1

Ⅶ 委員会

2021年度　院内各種委員会一覧
＊掲載内容は2021年度のもの

No.	名　　称	委員長	役職	実施時期
	目的や内容			
1	**医療安全管理委員会**	中島　洋介	病院長	毎　月
	医療事故の防止策の企画立案、患者の安全確保、適切な医療の提供体制の確立、安全に係る委員会の統括			
2	**医療安全部会**	掛札　敏裕	副院長	毎　月
	インシデントレポート・事故報告書の事例分析、安全対策の実施			
3	**院内感染対策委員会**	中島　由紀子	感染症内科部長	毎　月
	院内感染の予防策の作成、予防対策の監視・指導等による感染防止			
4	**感染部会**	中島　由紀子	感染症内科部長	毎　月
	患者・職員における感染対策の徹底と質の向上			
5	**輸血療法委員会**	中塚　逸央	麻酔科部長	隔　月
	輸血の安全確保、事故防止、輸血業務の適正・円滑な処理、血液製剤の有効利用の向上			
6	**放射線安全委員会**	福原　昇	放射線治療科部長	随　時
	放射線障害の防止、安全の確保、放射線発生装置の安全管理の徹底			
7	**医療ガス安全管理委員会**	中塚　逸央	麻酔科部長	年１回
	医療ガス設備の安全管理による患者の安全確保			
8	**衛生委員会**	鈴木　貴博	副院長	毎　月
	職員の健康障害の防止と健康の保持増進及び職場環境の改善			
9	**働き方改革推進委員会**	中島　洋介	病院長	随　時
	病院職員の勤務環境を改善する取組の推進、医師や看護職員の負担の軽減、処遇改善に関する取組計画を作成し、評価や見直しを行う			
10	**薬事委員会**	荒井　園枝	副薬剤部長	毎　月
	医薬品の適正管理、効率的な運用の審議、薬物療法の向上			
11	**医療機器管理委員会**	中塚　逸央	麻酔科部長	毎　月
	院内に配置されている医療機器の管理・調整			
12	**透析機器安全管理委員会**	滝本　千恵	腎臓内科部長	随　時
	透析液水質確保加算の施設基準届出に必要となる適切な水質管理実施や透析機器等の管理計画の作成			
13	**医療放射線管理委員会**	山下　三代子	放射線診断科部長	随　時
	放射線診療のプロトコール管理、被ばく線量管理、放射線の過剰被ばくその他放射線診療に関する事例発生時の対応等、診療用放射線の安全利用に係る管理			
14	**医療事故防止対策委員会**	掛札　敏裕	副院長	随　時
	診療内容の監査機関			
15	**治験・臨床研究倫理審査委員会**	伊藤　大輔	副院長	毎　月
	倫理的、科学的及び医学的妥当性の観点から治験・臨床研究の実施及び継続の審議			
16	**倫理委員会**	掛札　敏裕	副院長	随　時
	医療行為に関し、倫理的・社会的観点からの審査			
17	**保険委員会**	伊藤　大輔	副院長	毎　月
	保険診療及び保険請求の適正化向上			
18	**DPC委員会**	髙橋　智常	医事課長	毎　月
	DPC制度に関する研修の実施			
19	**診療情報管理委員会**	保坂　聖一	整形外科担当部長	毎　月
	入院外来等診療情報の管理・運用の向上、システムの検討			
20	**診療録管理委員会**	金澤　寧彦	糖尿病内科部長	毎　月
	サマリの作成、推進、管理、カルテ、訪問記録の質的向上の検討			
21	**救急医療運営委員会**	田熊　清継	救急総合診療センター所長	毎　月
	救急医療の取り組みの充実・強化			
22	**当直検討部会**	鈴木　貴博	副院長	毎　月
	当直業務における問題点、課題の共有と解決策の検討			
23	**災害時医療等委員会**	鈴木　貴博	副院長	毎　月
	災害医療に関する準備、企画検討、訓練の実施			
24	**地域連携委員会**	原田　裕子	血液内科部長	毎　月
	地域の医療機関との連携及び支援の推進、地域医療支援病院の認定を図る			
25	**地域がん診療連携拠点病院推進委員会**	嶋田　恭輔	乳腺外科医長	毎　月
	地域がん診療連携拠点病院としての体制整備・推進			

No.	名　　称	委員長	役職	実施時期
	目的や内容			
26	キャンサーボード	嶋田　恭輔	乳腺外科医長	随　時
	がん患者の病態に応じた、より適切ながん医療の提供を図る			
27	化学療法管理委員会	西尾　和三	呼吸器内科部長	毎　月
	実施される化学療法のレジメン（治療内容）の妥当性の評価・承認			
28	クリニカルパス委員会	保坂　聖一	整形外科担当部長	毎　月
	クリニカルパスの作成・運用			
29	褥瘡対策委員会	安西　秀美	皮膚科部長	隔　月
	褥瘡対策の企画立案、対策の推進、管理・運営			
30	NST(栄養サポートチーム)運営委員会	栗原　夕子	内科担当部長	毎　月
	栄養管理を通し、安全で効率的な医療サービスの提供へ寄与			
31	嚥下・口腔サポートチーム部会	此枝　生恵	耳鼻咽喉科医長	毎　月
	嚥下評価や口腔ケア、摂食環境などの環境整備を図る			
32	給食委員会	栗原　夕子	内科担当部長	隔　月
	食事療法の質の向上			
33	職員研修委員会	伊藤　大輔	副院長	随　時
	教育研修に関する企画・実行・評価による職員の資質の向上			
34	研修管理委員会	金澤　寧彦	糖尿病内科部長	随　時
	初期臨床研修の企画立案、運用管理			
35	看護師特定行為研修部会	鈴木　貴博	副院長	随　時
	地域における医療・介護の総合的な確保を推進するため、特定行為を実施する看護師を計画的に養成			
36	図書委員会	金澤　寧彦	糖尿病内科部長	毎　月
	図書室の適正な運用と医療情報の収集・提供による職員の業務の向上			
37	機種・診療材料選定委員会	伊藤　大輔	副院長	随　時
	導入する機器の仕様決定、公平かつ適正な機種確保及び医療機器の試用の検討、効率的な物品調達			
38	市民交流・サービス向上委員会	藤原　実香	副院長	毎　月
	患者サービスの向上及び職場環境の向上			
39	ホームページ・広報委員会	北村　修	事務局長	随　時
	ホームページの管理、広報「井田山」の編集企画、発行管理			
40	臨床検査管理委員会	岩田　壮吉	検査科部長	随　時
	臨床検査の適正化・能率化を図る			
41	外来診療委員会	西尾　和三	呼吸器内科部長	随　時
	外来診療に関する諸問題の調整・検討			
42	手術部委員会	中塚　逸央	麻酔科部長	毎　月
	手術室の有効な運営管理を図る			
43	HCU委員会	西尾　和三	呼吸器内科部長	隔　月
	HCU･CCUの有効な運営管理を図る			
44	院内がん登録運用委員会	掛札　敏裕	副院長	随　時
	地域がん診療連携拠点病院の指定要件Ａ項目に追加された要件、「院内がん登録の運用上の課題の評価及び活用に係る規定の策定等を行う機関（委員会）を設置している」への対応			
45	地域包括ケア病棟運営委員会	水谷　憲生	整形外科部長	隔　月
	地域包括ケア病棟への入院の可否の判定、入院順位の決定、その他入院に関すること			
46	緩和ケア委員会	佐藤　恭子	緩和ケア内科部長	毎　月
	緩和ケアの提供、運用が適切・円滑に行われるよう体制の整備・促進を図る			
47	がんサポート・緩和ケア部会	久保田　敬乃	緩和ケア内科担当部長	随　時
	がん患者とその家族に対し、質の高い緩和ケアを提供し、QOLの向上を目指す			
48	病床管理運営委員会	鈴木　貴博	副院長	随　時
	病床の適正な管理運営を図るとともに、病棟の個室料金についても検討する			
49	ハラスメント防止対策委員会	中島　洋介	病院長	随　時
	セクシュアルハラスメント、パワーハラスメント及び妊娠・出産・育児又は介護に関するハラスメントの防止及び対策を講じる			
50	糖尿病サポート委員会	金澤　寧彦	糖尿病内科部長	毎　月
	糖尿病ケアの向上			
51	認知症ケア委員会	荒井　亮輔	呼吸器内科副医長	毎　月
	認知症ケアの質の向上			

1　医療安全管理委員会

毎月第４木曜日を定例日として開催しました。医療安全部会を下部組織に持ち、院内感染対策委員会、輸血療法委員会、放射線安全委員会、医療ガス安全管理委員会、衛生委員会、薬事委員会、医療機器管理委員会を統括しており、各委員会での決定事項の周知の徹底と提案事項の検討及び承認、懸案事項についての検討を図りました。

（文責　書記［庶務課］川口　文江）

２　医療安全部会

毎月第３火曜日を定例日として、各部門の毎月のインシデント報告の集計や医療安全情報の共有とともに、個々の事例の原因分析や再発防止策の具体的検討などを行いました。

また、委員会の班活動として、研修企画運営班、医療安全推進班、患者誤認防止班、転頭転落防止班の４班に分かれて、それぞれ活動しました。研修企画運営班では、医療安全の質の向上を図るため、動画研修会を４種類計 22 回開催した。医療安全推進班では、医療安全に関する標語ポスターの募集・掲示とともに、院内で投票を行い、職員の意識向上を図った。患者誤認防止班は各病棟ラウンドを実施し、昨年改訂したマニュアルに基づき患者誤認防止の実施状況を確認した。転倒転落防止班では外来モニターで転倒転落の広報を開始し、病棟や検査室にも注意喚起のポスターを作成。また、売店で取り扱っている院内シューズについても見直しを行った。

（文責　書記［庶務課］川口　文江）

３　院内感染対策委員会

毎月第 2 月曜日に開催しています。内容として、BSI(中心静脈カテーテル関連血流感染)、UTI(尿道留置関連尿路感染)、SSI(手術部位感染)サーベイランス結果、針刺し・切創・粘膜曝露の報告、研修会開催の周知、感染症発生の際には事例報告と対策の共有等を行います。検査科からは血液培養 2 セット率・転入院患者の保菌状況・耐性菌検出状況・一般細菌培養検査と AST(抗菌薬適正使用支援チーム)介入状況報告があります。薬剤部からは、届出対象抗菌薬の使用状況、長期使用患者数、AST 介入状況等について報告があります。

2021 年度も新型コロナウィルス感染症流行下にあって、医療従事者（委託業者含む）や患者さん等全ての人がマスクを着用するユニバーサルマスキングと手指衛生励行に努めています。さらにワクチン接種やマニュアルに沿った感染対策の対応で院内感染防止に努めています。

（文責　副委員長[感染対策室] 森田　純子）

４　感染対策部会

感染対策部会は院内感染対策委員会の下部組織として設置し、日々の対策の見直し・改善・啓発活動に取り組んでいます。部会構成部署として、診療部・看護部・薬剤部・検査科・放射線科・リハビリテーション科・ME 管理室・食養科・事務部門で構成、組織的な活動を継続して実施しています。

取り組み内容として

（院内教育）全職員が年 2 回の研修会に参加できるよう部門毎に参加者の名簿を配布し、研修会参加への働きかけを行いました。新型コロナウイルス感染症流行下において、集合教育が困難な時期には DVD を利用し部署ごとの視聴会実施や、研修会資料配布による確認テストを実

施しました。
（業務見直し）主に部門ごとのマニュアルや手順書の見直し・修正を実施しました。今年度も環境清拭ワイプの適応と使用方法についての周知を行いました。今後も適宜見直しを行い、対策の実施に取り組んで行きます。
（手指衛生）感染対策の基本となる手指衛生を推進するため、毎月の使用量調査や啓発活動を実施しました。ポスターでは、個人使用量の上位ランク者や職種別・部門別使用量ランク等について発行しました。今後も適切な場面で手指衛生が実施できるよう調査の実施やフィードバックによる啓発活動を行っていきます。
（院内ラウンド）針刺し・切創、粘膜汚染防止の観点から、スタッフの履き物について調査し、結果を掲示・フィードバックを行いました。また、勤務室内のステートの保管状況調査も行い、結果のフィードバックと改善策の提示を行いました。今後も感染対策の観点から、院内の様々な場所をラウンドし現状調査と改善策の提示を行っていきます。

（文責　副部会長[感染対策室] 森田　純子）

5　輸血療法委員会

2021 年度の輸血療法委員会は、6 回開催しました。血液製剤の使用状況や院内輸血療法に関する問題点等を中心に、輸血療法の適正化に努めました。

1.　主な検討項目

① 自己血バック返血時の製剤取り扱いの周知
② 廃棄血液有効活用の検討について
③ 血液型検体採取に関する意識調査の実施

2.　輸血用血液製剤の使用状況

輸血管理料Ⅱ(110 点)+適正使用加算(60 点)取得しています。

血液製剤	単位数
赤血球製剤	1,922
新鮮凍結血漿製剤	132
濃厚血小板製剤	1,750
HLA 適合血小板製剤	60
洗浄血小板製剤	0
自己血	109
合計	3,973
輸血患者数（実人数）	430
FFP/RBC 比(0.27 以下)	0.05

アルブミン製剤	本数
高張アルブミン [12.5g/50ml/瓶]	418
等張アルブミン [11.0g/250ml/瓶]	117
アルブミン使用量(g)	6,199.5
アルブミン使用量(単位)	2,066.5
投与患者数(実人数)	106
アルブミン使用比(2.0 以下)	1.0

3. 副作用報告

副作用発生は 15 名、21 症状でした。副作用報告内訳は以下の通りです。

投与製剤	赤血球製剤	新鮮凍結血漿製剤	血小板製剤	自己血	合計
報告数	13	0	8	0	21

赤血球輸血において TAD(輸血関連呼吸困難)と診断された症例が 1 例ありました。

4. 院内研修会

本年度は、２回開催しました。

第１回 2021 年７月１日「安全な輸血のために」

講師　神奈川赤十字血液センター学術課　中村圭太氏

第２回 2022 年３月　「輸血インシデント報告」(誌面開催)

編集担当　検査科　矢野佐知子

第 1 回は新人看護師を対象に、第 2 回は COVID19 流行の影響を受け昨年度に引き続き誌面開催とし、関係職員への研修を実施致しました。

本年度も無事故であったことを皆様に感謝致します。

（文責　委員会事務局　矢野　佐知子、委員長　中塚　逸央）

６　放射線安全委員会

放射線安全委員会は、放射性同位元素等の規制に関する法律に則り定めた井田病院放射線障害予防規程に基づき放射線発生装置を安全に管理運用するために必要な事項について調査及び審議を行っております。

本年は前述の法規制を受けるリニアック装置の更新により、5 月 1 日より業務を停止し、11 月 18 日より稼働を開始しております。また、診療用照射装置の出力線量の第三者機関による評価を受け、リニアック装置の出力線量の安全性を確認しております。

放射線障害予防規程の変更については、６月１日付けで眼の水晶体の等価線量限度改正に伴う変更等及び 12 月 1 日付けで廃棄施設（保管廃棄設備）の設置に伴う変更届を原子力規制委員会へ提出しております。

当委員会は 2022 年２月、書面による持ち回り会議（新型コロナウイルス感染対策のため)により開催し、審議の結果、全員意義なく承認されております。

主な審議事項は以下のとおりとなります。

・ 放射線業務従事者の管理状況について
・ 放射線施設自主点検結果について
・ 医用放射性廃棄物の廃棄状況について
・ 放射線治療関連機器の管理状況について
・ 放射線計測器の標準校正について
・ リニアック- CT 同室型装置導入に伴う法的手続きついて
・ 治療用照射装置出力線量の第三者機関による出力線量の測定結果について

（文責　委員長［放射線治療科 部長］福原　昇）

7　医療ガス安全管理委員会

2021 年度は、２月 25 日（金）に委員会を開催しました。

2020 年度の医療ガス設備保守点検は、６・９・12・３月に行なわれ、各病室等に設置しておりますアウトレットバルブやスライドベースに各所で緩みがありましたので、増し締めして対応しております。その他には異常がないことを確認しました。その他の点検以外の措置として、医療ガス機械室内にて空気除湿装置No. 2ラインフィルターエレメンの交換ランプが点灯したため、該当箇所のフィルターを交換しております。他にはコンプレッサーＮｏ．1号機（空気供給装置）の内部ファン（換気扇）が劣化していたため、ファンを交換しております。その他は大きな異常はありませんと報告がありました。

また、CE設備定期自主検査においても 2020 年7月、2021 年1月に行われそれぞれ「異常なし」の報告がありました。

医療ガス設備の日常点検についても、異常や故障等はありませんでした。

2020 年度病院立入検査（医療監視）の中で医療ガス設備の書類審査を行いましたが、特に指摘事項等はありませんでした。

医療ガス安全点検に係る業務の監督責任者に中塚委員長、実施責任者に毛利副委員長が任命されました。

（文責　書記［庶務課］八十島　大輔）

8　衛生委員会

〔構成〕

衛生委員会は、毎月第３木曜日に開催し、今年度は 12 回開催しました。

委員の構成は医師４名（産業医３名含）、衛生管理者１名、看護師２名、診療放射線技師１名、庶務課事務職１名、労働組合員５名、保健相談員１名の計 15 名となっています。

労働安全衛生法第18条に基づき、職員の健康障害の防止と健康の保持増進および快適な職場環境の形成促進を目的としており、公務災害の原因および再発防止対策で衛生に係わるもの、その他衛生管理に関する事項について調査・審議しました。

〔定期健康診断等〕

例年のとおり、定期健康診断（雇入れ時健診・人間ドック含む）、深夜業務従事者健康診断、電離放射線業務者健康診断などの健診、HBV検査を行いました。表１に受診状況を示します。

〔各種ワクチン接種〕

抗体価の著しく低い職員に対し、Ｂ型肝炎、麻疹、風疹、水痘及びムンプスのワクチン接種をしました。また、秋には原則的に全職員に対し、インフルエンザワクチンの接種を行いました。表２に接種状況を示します。

〔公務災害等〕

2021 年度の公務災害及び通勤災害の認定請求件数は 11 件でした。針刺し事故の中で、血液媒介型感染のリスクのあるものが４件ありました。注意喚起と再発防止に向けた取組みを行いました。表３に請求状況を示します。

〔職場巡視〕

産業医・衛生管理者の視点から、安全衛生についての目的を定めて巡視を行い、各職場へのフィードバックに努めました。

（文責　書記［庶務課］岩村　悦子）

表１　2021年度　定期健康診断等受診状況

健康診断（検診）の内容	対象者（人）	受診者（人）	受診率（%）
定期健康診断	683	660	96.6%
電離放射線健康診断（前期）	100	87	87.0%
電離放射線健康診断（後期）	98	94	95.9%
有機溶剤等取扱者健康診断（前期）	8	8	100.0%
有機溶剤等取扱者健康診断（後期）	8	8	100.0%

表２　2021年度　ワクチン接種状況

ワクチンの種類	接種者数(人)
HBワクチン	49
麻疹ワクチン	42
風疹ワクチン	7
麻疹風疹混合ワクチン	11
水痘ワクチン	4
ムンプスワクチン	34
インフルエンザワクチン	910

表３　2021年度　公務災害請求状況

疾病名	職種	被災日	治療	種類
感染血液による汚染の疑い	看護師	2021/4/21	通院	公務災害
感染血液による汚染の疑い	看護師	2021/5/29	通院	公務災害
左手部打撲傷	看護師	2021/6/15	通院	公務災害
左上口唇挫傷	看護師	2021/6/17	通院	公務災害
感染血液による汚染の疑い	看護師	2021/6/22	通院	公務災害
左膝関節血種、左膝部打撲傷	看護助手	2021/7/5	通院	公務災害
右示指刺傷	医師	2021/7/30	通院	公務災害
右示指打撲傷	診療放射線技師	2021/8/24	通院	公務災害
右肘針刺し神経損傷	医師	2021/9/10	通院	公務災害
腰椎捻挫	医師	2021/10/28	通院	通勤災害
頭部打撲	事務職員	2022/3/28	通院	公務災害

９　働き方改革推進委員会

働き方改革推進委員会は、井田病院に勤務する病院職員の勤務環境の改善、医師及び看護職員の負担の軽減ならびに処遇の改善に関する取組計画を作成し、評価や見直しを行うことを目的としています。当委員会を設置するまでは病院職員の勤務環境等については他の会議や委員会等で議論していましたが、平成30年２月に厚生労働省の医師の働き方改革

に関する検討会より「医師の労働時間短縮に向けた緊急的な取組」が示されたこともあり、川崎市病院局の方針として井田病院においても、平成30年10月に当委員会を独自に設置する運びとなりました。

委員会では、医師の長時間勤務の是正について、全医師の時間外勤務状況を月毎に調査し時間数の把握に努めています。

その他、医師の負担軽減および処遇の改善に資する計画として、タスクシフティングの推進、連続当直を行わない体制、当直体制課題の見直し、複数主治医制導入の検討など、種々の改善を試みています。今後も病院職員の勤務環境改善のため、委員会としての役割を担っていきたいと考えております。

（文責 委員長［病院長］伊藤　大輔）

10. 薬事委員会

薬事委員会は、開催日を毎月第４月曜日と規定し、2021 年度は９回開催しました。

委員の構成は、医師８名，看護師１名，検査技師１名，医事課事務職１名，薬剤師２名の計１３名です。

院内・外で使用する医薬品や検査試薬等に関する新規採用の可否および採用中止薬品についての審議のみならず、医薬品に関する様々な情報の共有や、問題点の検討等も行っております。

１．　定期購入薬品、院外専用薬品等の審議について

新規採用の申請医薬品は「薬事委員会要綱」に基づいて審議し、その結果を院長等に答申し、承認を得て使用可能となります。

2021 年度に答申・承認された医薬品は、定期購入医薬品：12 品目、院外処方医薬品：６品目でした。また、一定期間使用実績のない薬品について、定期採用を取りやめる取り組みを行うことにより、採用薬品数の削減にも努めています。

後発医薬品への切り替えも鋭意進めており、2021 年度末における後発医薬品使用率（数量ベース）は、87.0％であり、国の指標とする 80％をクリアしています。

２．　薬事委員会の議事録要旨

薬事委員会の議事録要旨は、その都度、電子カルテ、初画面掲示板、薬剤部のフォルダに掲示しています。

（文責　書記　北村　充）

11　医療機器管理委員会

医療機器管理委員会は医療機器における保守点検計画の策定、保守点検の実施確認、医療機器教育研修、医療機器安全情報周知等、医療機器に関する管理・運用を検討しています。毎月第４水曜日に開催し、2021 年度の主な活動内容は以下の通りです。

① 医療機器の購入廃棄情報のまとめと配置状況の確認。

② 医療機器年間保守計画書の作成と実施の確認。

③ 委員会による医療機器研修の実施と部署研修の把握。

④ 医療機器安全情報の共有と検討。

今後も医療機器管理委員会では医療機器の適正な管理・運用に努めてまいります。

（文責　［ＭＥセンター］千葉　真弘）

12　透析機器安全管理委員会

透析で使用する透析用水は透析医療の根幹であり、洗浄・準備・治療における全ての工程で使用するため、適切な検査と管理が求められます。当委員会では透析に使用する水質の検査や、透析装置のメンテナンス状況を毎月確認し、問題発生時には改善の検討をしています。2021 年度も適切な検査と管理のもと、清浄度の高い透析用水を維持することができています。今後も細心の注意を払い透析装置や関連機器の管理を行ってまいります。

（文責　［ＭＥセンター］千葉　真弘）

13　医療放射線管理委員会

医療法施行規則の一部を改正する省令（平成 31 年厚生労働省令第 21 号 2020 年４月１日施行）に基づき、診療用放射線の安全かつ有効な利用を確保するため、各施設で「診療用放射線の安全利用のための指針」を定めることが義務化され、運用を開始したところであります。当委員会は、その指針に基づいて調査及び審議を行うものとして位置付けられております。本年、リニアック装置の更新によりリニアック室内に併設された CT 装置の設置に伴い、管理対象となる装置が 2 機種追加され、4 台になりました。

当委員会は 2022 年３月、書面による持ち回り会議（新型コロナウイルス感染対策のため）により開催し、審議事項は全員意義なく承認されております。報告事項は以下のとおりとなります。

１）放射線診療に従事する者に対する診療用放射線の安全利用のための研修について

研修方法は事前に資料及び確認問題を対象者に配布し、回収するという手法を採用しております。研修対象者は 177 名（69.5％）であり、その内訳は、医師 94 名(47.8%)、看護師 57 名(100%)、臨床工学技士 8 名(100%)、診療放射線技師 18 名(100%)となっております。なお、カッコ内の数値は確認問題の回収率を示します。

２）線量管理の対象となる医療機器に応じた実施記録の管理について

CT の線量管理については、CT 診断参考レベルの線量と当院の CT 線量との比較を行い、その最適化について検討を行っております。

また、IVR の線量管理については、IVR の透視線量の低減化に向けての検討を行い、その最適化を図っております。

なお、本指針は、電子カルテのトップページ お知らせ欄の「放射線科」に掲載されています。

（文責　委員長［放射線診断科部長］山下　三代子）

14　医療事故防止対策委員会

医療事故防止対策委員会は、医療事故の原因究明と再発防止を目的に開催します。今年度は１回開催しました。

（文責　［医療安全管理室］宮崎　幸子）

15. 治験・臨床研究倫理審査委員会

本委員会は、井田病院において実施予定の治験や臨床研究について、倫理的、科学的及び医学的・薬学的観点から、実施の妥当性を審査しています。

2021 年度は７回開催し、治験１件、臨床研究 10 件、製造販売後調査７件について審査を行いました。

本委員会の手順書、委員名簿及び議事録は、井田病院のホームページに掲載しています。

（文責　委員会事務局［薬剤部］杉本　裕基）

16　倫理委員会

当委員会は、院内で行われる医療行為及び医学の研究について、倫理的、科学的及び社会的観点から審査を行うことを目的としており、2021 年度は、次のとおり３件について審査を行いました。

（文責　書記［庶務課］中本　琴音）

	開催日	検討課題	審議の結果
第１回	12 月 1 日	（１）ロボット支援膀胱全摘術の導入	承認しました。
		（２）術中マイトマイシンC（MMC）塗布を併用した翼状片手術	承認しました。
		（３）ＥＤＴＡを用いた帯状角膜変性症の治療	承認しました。

17　保険委員会

当委員会は、保険診療及び診療報酬請求の適正化・向上を目的として活動しています。

委員の構成は、医師 21 名、看護師１名、薬剤師１名、臨床検査技師１名、診療放射線技師１名、医事課職員４名の計 29 名です。

2021 年度は 11 回の開催となりました。

査定内容を審査支払機関ごとに分析し、医学的判断による査定については積極的に再審査請求を実施した結果、2021 年度の査定率は 0.15％となりました。

保険診療の適正化及び診療報酬請求の精度向上の取り組みとして、岩田壮吉婦人科部長による勉強会「保険診療とレセプト審査」を実施しました。初期研修医及び専攻医を中心に 36 名が参加し、保険医療制度や保険医療養担当規則について理解を深めました。また、2022 年診療報酬改定において変更となる項目について診療報酬請求が適切に実施できるよう、外部講師による診療報酬改定勉強会を開催しました。

今後も適正な保険診療・診療報酬請求が行えるよう活動を継続して行ってまいります。

（文責　書記［医事課］横倉　悦美）

18 DPC委員会

当委員会は、「適切なDPC コーディング」を行う体制の構築・維持を目的とし活動しています。

委員の構成は、医師21名、看護師1名、薬剤師1名、臨床検査技師1名、診療放射線技師1名、医事課職員4名（診療情報管理士2名）の計29名です。

DPC対象病院として11年目となった2021年度は、4回の委員会を開催しました。

診療科別検討会を3診療科に対し実施し、適切な診断群分類の選択方法について検討を行いました。内科では医師25名を含む30名が参加し、腎盂腎炎、肺炎、敗血症について検討しました。腎臓内科では医師5名、臨床工学技士3名を含む15名が参加し、人工腎臓、アルドステロン症について検討しました。外科では医師5名を含む12名が参加し、術後腹膜炎について検討しました。また、保険委員会と合同開催した診療報酬・DPC 勉強会では、初期研修医及び専攻医を中心に36名が参加し、DPC制度の概要について理解を深めました。

2003年の発足当初は1860で開始した診断群分類も今では4000を超え、より精度の高いDPC コーディングが求められています。今後も医師、診療情報管理士、DPC 担当者が協力し適切なDPCコーディングができるよう、体制の構築・維持に努めてまいります。

（文責　書記［医事課］横倉　悦美）

19　診療情報管理委員会

本委員会は医師、看護師、薬剤師、放射線技師、臨床検査技師、栄養士、医事課、庶務課、富士通のシステムエンジニア(以下 S.E)等の委員で構成されており、病院業務の中で生じた電子カルテ等システム上の問題点を、その都度各部署から挙げて頂き、本委員会で検討の上、S.E を通じて修正することにより病院業務が円滑に行えるようにしています。

今年度は、12 回委員会を開催しました。また、今秋の6年ぶりの電子カルテの更新に向け、委員会にプロジェクトチームを発足させ、部門毎にワーキンググループを開催しました。

6月に電子カルテの大規模バージョンアップ、11 月に6年ぶりの電子カルテの更新、1月から3月にフロア・エッジスイッチの交換が行われ、皆様の協力により円滑に終了いたしました。来年度は、情報セキュリティーの強化に向け、医療情報システムの監査等を行って行きたいと思います。皆様のご協力お願い申し上げます。

（文責　委員長［整形外科担当部長］水谷　憲生）

20　診療録管理委員会

2012年度に診療情報管理委員会の部会として組織されていた診療録管理部会は、2013年度より委員会に昇格して活動を開始しました。

2021年度は、５回委員会を開催しました。

2020年度、病院機能評価において指摘を受けた診療録の量的点検については、改訂作業中の診療情報管理規程に明文化するとともに、結果を分析し、改善点について議論を行いました。

また、今年度、当委員会においては、電子カルテ内に新規登録や変更を提案された帳票について検討し、承認、留保などの審査を行いました。説明書・同意書については、川崎病院の例並びに委員会で出た意見を取り入れた文書を新規に作成しました。

来年度は、退院後２週間以内のサマリー作成率の向上、並びに診療情報管理規程の改定作業に引き続き取り組むとともに、研究目的等で画像を持ち出す際の院内ルールについても議論を行う等、委員会としても積極的に活動をしていく予定です。

（文責　委員長［糖尿病内科部長］金澤　寧彦）

21　救急医療運営委員会

当委員会は、突然の傷病で救急搬送される方々や、緊急受診される方々や、あるいは院内で急変される方々に迅速に対応し応急処置を提供するため、救急センター（現：救急総合診療センター)を基軸とした救急医療体制を構築･整備することを目的に設置されました。診療科間の協力体制の構築、当直業務の検討（部会)、救急隊との連携、救急関連医療資材の検討･救急教育や研修会の企画（部会)、災害時医療等委員会との連携、などをおこなっています。委員会開催日は、毎月第２水曜日です。

救急総合診療センターは開設から７年目となりましたが、2019 年度より市立川崎病院との連携を強化し、2020 年度からは準夜においても、より多くの救急傷病に対応可能な体制に更新しました。

救急総合診療センターの受入拡大に向け、昨年度に引き続き、応需可能な診療内容の見直しや小児用救急カートの整備、市立川崎病院とのホットラインの整備を実施しました。常勤救急医の退職に伴い、救急車応需数は一時減少しましたが、院内各診療科の協力もあり、2021 年度の救急車応需数は 2,392 件（2020 年度 2,193 件）と増加しました。

今後も「断らない救急」の確立に向けて、救急医療体制の構築･整備に努めてまいります。

（文責　［救急総合診療センター長］田熊　清継）

22　当直検討部会

当直検討部会は、2019 年度に「当直業務の課題解決に向けた検討会」として立ち上げられ、当直時間帯における運営方針や協力体制、院長代行の業務などについて検討を行い、「当直業務に関する合意事項」を定めるなど、当直業務に関する様々な諸課題の解決に向けて関係者による協議を行ってまいりました。2020 年度からは救急医療運営委員会の部会として正式に院内委員会組織に位置付けられたところです。

2021 年度は全６回の部会を開催し、医師当直簿のコメント記載欄に記入された内容について毎回の部会で検証を行うとともに、新型コロナウイルス感染症への対応などについて検討を行い、決定した内容については関係者間で情報共有を図るなど対策を講じました。

今後も引き続き、当直業務の様々な諸課題について、改善に向けて協議を行ってまいります。

（文責　書記［医事課］五十嵐　大介）

23 災害時医療等委員会

当委員会は、救急医療検討委員会の下にあった災害時医療専門部会が 2015 年４月に委員会に格上げされたことにより設置されました。毎月第２木曜日を定例日として開催し、災害時医療に関する事項について約 50 人の委員で協議、検討しました。

当院は 2015 年3月に神奈川県災害協力病院の指定、2016 年3月に神奈川 DMAT-L 指定病院に指定されるなど災害時に担う役割が大きくなってきています。

2021 年度の主な実績としては、①マニュアル各論編（アクションカード）の改訂 ②コロナ禍における災害医療対応机上訓練の実施 ③県内医療機関間での情報伝達訓練等の通信訓練の実施 ④災害時に備えての物品購入等があります。①については、班ごとに見直しを行い、災害時に各職員が効率的に行動できるよう、より現場に即したアクションカードへと改訂しました。

当委員会では今後も多くの訓練、研修会等を通じて更なる災害時医療の強化に努めてまいります。

（文責 書記［庶務課］石原　純）

24　地域連携委員会

地域連携委員会は、「当初、地域の医療機関との連携、支援を推進する。」ことを目的として、2014 年度に発足しました。

1　2021 年度の実績

（１）　委員会開催実績

2021 年度は、委員会を 9 回開催しました。以下に委員会での主な議題を記載します。

2021 年度　地域連携委員会の主な議題

日時	主な議題
4 月 16 日 16:30～	◎紹介受入・他院紹介患者数について ◎クリニック訪問について
5 月 21 日 16:30～	◎紹介受入・他院紹介患者数について ◎紹介率・逆紹介率について
7 月 16 日 16:30～	◎紹介受入・他院紹介患者数について ◎WEB市民公開講座について
8 月 20 日 16:30～	◎紹介受入・他院紹介患者数について ◎診療情報提供料について
10 月 15 日 16:30～	◎紹介受入・他院紹介患者数について ◎WEB市民公開講座について
11 月 19 日 16:30～	◎紹介受入・他院紹介患者数について ◎地域連携の会に代わるDVDについて
12 月 17 日 16:30～	◎紹介受入・他院紹介患者数について ◎出前講座について
2 月 18 日 16:30～	◎紹介受入・他院紹介患者数について ◎診療情報提供料について
3 月 18 日 16:30～	◎紹介受入・他院紹介患者数について ◎紹介率・逆紹介率について

（２）　取組内容

ア　クリニック等に対する当院医師の紹介

当院の診療科医師を紹介する冊子「診療のご案内」や地域医療部だよりを発行し、医療機関へ送付しました。

イ　地域連携の会について

地域の医療機関といわゆる「顔の見える関係」を築き、その連携を強化することを目的とした地域連携の会ですが、コロナ禍により開催を見送りました。代わりに新任医師の紹介及び新型コロナウイルスに関する当院の取り組みについてDVDを作成し、連携登録医療機関に持参及び送付しました。

ウ　クリニック訪問

2021 年度は 123 ヶ所のクリニック・病院を訪問しました。

エ　WEB市民公開講座

コロナ禍により開催を見送っておりました市民公開講座ですが、ホームページ上で身近な病気に関わるテーマを専門の医師がわかりやすく解説するWEB市民公開講座を12回開催しました。

２　来年度に向けて

継続的に地域の医療機関との連携強化を図るとともに地域医療支援病院承認に向けて取り組んでまいります。

（文責　書記［地域医療部］尾上　茂樹）

25　地域がん診療連携拠点病院推進委員会

地域がん診療連携拠点病院推進委員会は、「地域がん診療連携拠点病院として体制を整備し、推進する。」ことを目的として、2014 年度に発足しました。

１　2021 年度の実績

（１）委員会開催実績

2021 年度は、委員会を５回開催しました。以下に委員会での主な議題を記載します。

2021 年度　地域がん診療連携拠点病院推進委員会の主な議題

日時	主な議題
4 月 13 日 16:30～	◎地域がん診療連携拠点病院の指定要件に規定される診療実績について ◎地域がん診療連携拠点病院の指定について ◎神奈川県がん診療連携協議会の開催について
7 月 13 日 16:30～	◎地域がん診療連携拠点病院の指定要件に規定される診療実績について ◎地域がん診療連携拠点病院の指定要件の現状について ◎外部講師を活用したがん教育への協力について

9月14日 16:30～	◎地域がん診療連携拠点病院の指定要件に規定される診療実績について ◎神奈川県がん･生殖医療ネットワーク(KanaOF-Net)への参加について ◎令和３年度がん診療連携拠点病院機能強化事業費補助金の内示について
10月12日 16:30～	◎地域がん診療連携拠点病院の指定要件に規定される診療実績について ◎地域がん診療連携拠点病院の指定更新に関する資料提出について
2月8日 16:30～	◎地域がん診療連携拠点病院の指定要件に規定される診療実績について ◎地域がん診療連携拠点病院の指定状況について ◎患者さん・ご家族が利用できるサービスのご案内 ◎がんサロンの再開について

（２）取組内容

地域がん診療連携拠点病院の指定継続

井田病院における地域がん診療連携拠点病院の指定期間については、2016年４月１日から2023年３月31日までの７年間となっておりますが、指定要件を満たしているかの現況報告は毎年行っております。よって、毎月開催される委員会の議題として診療実績（指定要件）の確認は欠かさず行っております。

主な指定要件は次のとおりです。

【診療実績】

◎院内がん登録数　500件以上
◎悪性腫瘍の手術件数　400件以上
◎がんに係る化学療法のべ患者数　1000人以上
◎放射線治療のべ患者数　200人以上
◎緩和ケアチームの新規介入患者数　50人以上

【診療従事者】

◎常勤専従の放射線治療医師
◎常勤専任の放射線診断医師
◎常勤の病理診断医師
◎放射線治療室に専任の常勤看護師１名以上
◎専従の化学療法に携わる専門的な知識及び技能を有する常勤の看護師
◎専任の細胞診断に係る業務に携わる者
◎「相談支援センター相談研修・基礎研修」（１）～（３）を修了した専従及び専任の相談支援に携わる者
◎国立がん研究センターによる研修を受講した専従の院内がん登録を担う者１人以上

２　来年度に向けて

平成28年４月１日から令和５年３月31日までの７年間、地域がん診療連携拠点病院として指定を受けておりますが、毎年現況報告の提出を求められますので、今後も指定要件についてはクリアしていかなければなりません。

また、ただ指定要件を充たせばよいだけではなく、当院は『かわさき総合ケアセンター』があることから、検診から診療、在宅医療から週末期医療までを行う「シームレスな医療」を提供する病院として更に力を発揮していかなければなりません。

次年度も委員の皆さんを中心として、病院が一丸となり、「地域がん診療連携拠点病院」を推進してまいります。

（文責　書記［地域医療部］尾上　茂樹）

26　キャンサーボード

キャンサーボードとは、多職種のプロが集まり患者さんの治療方針を多方面から考え決定する会議です。2014 年以前は、基本的には単科のみで治療方針を決定し、疾患自体が多臓器にわたる場合のみ複数科の医師で集まって治療方針を決定しているにすぎませんでした。しかし、2014 年度からは、各科のカンファレンスになるべく複数の科の医師が参加するようにしただけではなく、看護師や病理検査、放射線診断部門など多部門で治療を検討できるようにしました。また、最初の治療のみならず治療の過程における二次治療決定をも、一時治療評価後にしっかりと検討していくように組織化されました。病理組織像を検討材料に取り入れている、臨床病理キャンサーボードも呼吸器センターや消化器センターが取り入れ、これまで実施してきております。

今後も、院内の多職種連携をつよめ、診療の質向上に取り組んでいきたいと考えます。

① 病院全体キャンサーボード

多臓器にまたがる症例や原発不明癌、特殊な生物学的進展を示すものを複数科の医師および他職種で話し合う最も大きなキャンサーボード。病理検査部や放射線診断部も参加する。年１～２回開催。

② 部門臓器別キャンサーボード

それぞれのセンターあるいは診療科を中心に行うが、その他に診療科例えば放射線診断部や緩和ケア科を巻き込み、また看護師・薬剤師・栄養士などの多職種も参加し、多方面からの検討を行う。

2-1 消化器キャンサーボード（原則２回／週）

外科の手術前に消化器および乳腺悪性腫瘍の症例を多職種で検討。また病棟入院後の悪性腫瘍患者についても多職種で集まって治療方針を検討している。

2-2 乳腺キャンサーボード（原則１回／週）

2-3 呼吸器キャンサーボード（原則１回／週）

③臨床病理キャンサーボード

3-1 消化器センター臨床病理キャンサーボード

3-2 乳腺臨床病理キャンサーボード

3-3 呼吸器センター臨床病理キャンサーボード

（文責［腫瘍内科部長］西　智弘）

27　化学療法管理委員会

2021 年度は月例として９回開催（うち２回は回議にて実施）、レジメンの承認等について必要に応じて回議にて決裁を採り、新規・変更レジメンの審査、承認を行いました。2021 年３月末で、10 診療科から約 291 レジメンが登録されています。新たな試みとして、はじめて化学療法を受けられる患者向けにオリエンテーションを行う予約枠を設け、円滑な運用を目指しました。また、外来化学療法室にて他職種カンファレンスを定期的に開催し、最良の治療を検討し、質の高い医療を患者に提供しました。

委員会で承認されたレジメン及び、抗がん剤投与に関するマニュアルは、電子カルテシステムの初期画面に掲載しているため、どの職種でも閲覧可能です。また、レジメンについては井田病院ホームページにも掲載しています。

（文責　書記［薬剤部］内田　昌）

28　クリニカルパス委員会

本委員会は医師、看護師、薬剤師、臨床検査技師、栄養士、理学療法士、医事課より 20 名の委員で構成され、新規クリニカルパス（以下パス）の立案や評価、運用中パスの問題点等を検討しています。

毎月第２木曜日の開催としておりますが、新型コロナウイルスの拡大を受け、2021 年度は９回の開催となりました。

主な活動内容は、経口補水液使用における指示内容の統一に向けた取り組み、糖尿病教育入院の指示の見直し、パスの適切な利用方法についての議論を行いました。

2021 年度の院内全体のパス適用率は約 33.6％でした。委員会では目標である院内パス適用率 40％以上を目指し、今後も新規パスの立案、質の向上を図って参ります。

（文責　書記［医事課］横倉　悦美）

29　褥瘡対策委員会

本年度は、隔月に定例会議を開催し、褥瘡回診は毎週木曜午後実施しました。褥瘡回診延べ件数は 57 件でした。コロナ禍により、リンクナース会で学習会を年４回実施し、各部署へ伝達講習を行いました。

褥瘡発生率は 0.074％（今年度より推定褥瘡発生率での算出から褥瘡発生率の算出とした）で、院内発生件数は 57 件（前年度減 2 件）でした。

（文責　副委員長［看護師長］大溝　茂実）

30　NST 運営員会

入院患者個々の症例・病態に応じて適切な栄養管理を実施することを目的とし、2005 年度月より NST 運営委員会を立ち上げました。2011 年２月に栄養サポートチーム加算の施設基準を届出て、2011 年３月から加算の算定を開始しました。2020 年度は専任の医師２名、看護師４名、薬剤師２名、管理栄養士２名（うち１名は専従）、＋歯科医師の体制で回診を行いました。歯科医師が回診に参加することにより 2016 年度から新設された歯科医師連携加算（50 点）を 2018 年度より算定開始しています。現在算定は行えていませんが 2020 年度の診療報酬

改定にて、条件付きではありますが結核病棟における加算も認められました。

現在、毎週火曜日に回診・カンファレンスを実施し、低栄養患者への介入だけではなく、経腸栄養療法患者の栄養管理、手術予定者、抗がん剤治療予定者の栄養低下の予防のための介入も行っています。介入の結果、経口摂取だけではなく、経腸栄養や静脈栄養に関する介入が増加しています。

また、チーム内においては専従、専任者だけではなくリンクナースも回診に同行することにより、栄養サポートについて意識、知識の向上を図っていますが、今年度は昨年度、一昨年度に続いて症例報告・検討を行うことにより質の高いチーム医療を目指しました。院内スタッフに向けては院内勉強会を４回開催し、知識の向上を図りました。参加者は延べ 121 名でした。

回診患者数（延べ人数）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
介入数	73	62	104	101	122	85	85	95	92	93	90	73	1075
加算数	64	52	92	84	109	85	84	81	81	76	65	68	941

（文責　委員長［内科担当部長］栗原　夕子）

31　嚥下・口腔サポートチーム部会

本年度は、隔月に定例会議を開催し、褥瘡回診は毎週木曜午後実施しました。褥瘡回診延べ件数は 57 件でした。コロナ禍により、リンクナース会で学習会を年４回実施し、各部署へ伝達講習を行いました。

褥瘡発生率は 0.074％（今年度より推定褥瘡発生率での算出から褥瘡発生率の算出とした）で、院内発生件数は 57 件（前年度減２件）でした。

（文責　副委員長［看護師長］大溝　茂実）

32　給食委員会

給食委員会は隔月第３木曜日に開催し、2021 年度は６回開催しました。

委員の構成は医師４名、看護師１名、栄養士５名、オブザーバー給食委託業者２名の計１２名となっています。

栄養管理の向上と充実、適正な病院食運営を図る目的で協議しました。毎回、検食率、検食簿記載内容と記載内容への対応を報告、給食材料費や患者給食数・栄養指導件数、給食業務委託状況、誤配膳や異物混入などのインシデントを報告しました。

嗜好調査の実施案を検討、10 月に実施した食事アンケート結果を報告しました。満足度は「満足している」「普通」と答えた人が 78.3％と昨年度の 70.2％と比べ大幅に増加しました。おかずに関しては、「おいしい」「普通」と答えた人の割合が 71.8％と昨年度の 75.4％と比較し低下しました。理由としてはおかずの味付けが「薄い」と答えた人の割合が最も多くみられました。食事摂取基準の改訂に伴い、たんぱく質量を増やすため、肉や魚などのたんぱく源の食材を増量したが、味付けに使用する塩分は増えていないことも原因のひとつだと思われます。調理方法の工夫や、薄味でもおいしい食を提供できるよう栄養指導

などを通して発信していきます。

主食に関しては、「おいしい」「普通」と答えた人が昨年度の 84.4%と比較し、91.1%と増加しました。米の等級を上げて入札を行った効果があったと思われます。

今後も要望等を検討し、献立作成に反映させ、よりよい食事を提供することで患者の満足度を向上させるよう努めていきたいと思います。

（文責　副委員長[食養科長] 北岡　聡子）

33　職員研修委員会

2021 年度も例年同様に各委員会が中心となり、積極的に研修を実施しました。

主な職員研修は下表のとおりです。

（文責　[庶務課] 壱岐　崇）

表　2021 年度の主な職員研修

開催日	研修内容	実施組織／講師
4 月 1 日～4 月 22 日	初期研修医オリエンテーション	教育指導部 各関係部署
4 月 1 日～4 月 28 日	新人看護師オリエンテーション、3D 研修	看護部教育委員会
4 月 12 日・15 日 ・16 日	感染管理総論	感染対策室
5 月 27 日	新型コロナウィルス感染症疑い患者の抗原検査の実施方法	感染対策室 感染症内科中島医師
6 月 18 日	感染対策研修 「マスギャザリングと新型コロナ」	感染対策室
8 月 3 日	NST 研修会 「食事摂取量の記入と評価のポイント」「経管・経腸栄養」	NST 運営委員会 五味・亀山管理栄養士
8 月 20 日	感染性胃腸炎　ワンヘルス	感染対策室
9 月 7 日	NST 研修会 「リフィーディング症候群について」	NST 運営委員会 亀山管理栄養士
10 月 5 日	NST 研修会 「嚥下スクリーニング検査結果報告、口腔ケア・食事介助」	NST 運営委員会 谷内田言語聴覚士
10 月 15 日・25 日	新型コロナウィルス感染症について	感染対策室
11 月～2 月	2021 年度（令和 3 年度）看護部 「重症度、医療・看護必要度」研修　eラーニング	看護部記録委員会
12 月 7 日	NST 研修会 「輸液について」	NST 運営委員会 小川薬剤師
1 月 21 日	帯状疱疹・抗MRSA薬	感染対策室

34　研修管理委員会

2021 年度の初期研修医は、２年目は、坂上直也先生、田倉裕介先生、田尻舞先生、福澤紘平先生、三村安有美先生の５名でした。１年目は、池瞳先生、王野添鋭先生、廣瀬怜先生、藤塚帆乃香先生、藤原修先生の５名でした。

委員会では、初期臨床研修医のプログラム修了判定や、履修実績及び今後の履修計画等の報告をしました。また、新専門医制度に対応するため、各診療科との情報共有の徹底を図りました。

（文責　書記［庶務課］　壱岐　崇）

35　看護師特定行為研修部会

看護師特定行為研修部会は、特定行為に必要な手順書の作成や特定行為受講者の支援を行っています。2021 年度は、特定行為研修修了者の在宅医療での活動と今後の課題について共有しました。

（文責　委員長［副院長］鈴木　貴博）

36　図書委員会

当委員会は、医療情報の収集及び提供をはかり、職員の日常業務の向上に資する適切な図書室運営を推進するために設置されました。

2021 年度は計 5 回の図書委員会を開催し、例年同様各部署から挙げて頂いた購入希望図書・雑誌・各種データベース等について協議しました。当年度は更に NACSIS(国立情報学研究所[NII] が実施しているシステム)への加入について討議を重ねました。従来、当院で入手できない文献の取り寄せは独自で大学図書館や病院図書室に依頼していましたが、NACSIS に加入することにより、司書業務の軽減とともに振込手数料の値上がりや謝絶の増加の問題を解決できます。加えて今後見込まれる洋雑誌などの値上げへの対策となりうると考えています。

今後も当委員会は皆様の教育・研究支援をしてまいります。どうぞご協力の程よろしくお願い申し上げます。

（文責　委員長［教育指導部長］金澤 寧彦）

37　機種・診療材料選定委員会

当委員会は、医療機器の仕様の決定や診療材料の採用に関する審議を行っています。

2021 年度の委員会の開催（持ち回り開催を含む。）と、審議を経て購入した機器、採用した診療材料は次表のとおりです。

また、第 1 回委員会においては院内滅菌期限切れ調査の実施について報告を行いました。

（文責　書記［庶務課］山田　さおり）

2021年度　機種・診療材料選定委員会における審議について

回	日時	医療器械の機種選定		診療材料の審議	
		番号	機器名	番号	診療材料名
持ち回り	5月6日	1	ＶＩＲＵＳ　ＧＵＲＤ　ＷＡＬＬ		<なし>
		2	回診用Ｘ線撮影装置		
持ち回り	5月10日	1	空気感染隔離ユニット		<なし>
		2	超音波画像診断装置		
持ち回り	5月25日	1	放射線治療室改修に伴う備品		<なし>
第１回	5月31日	1	セントラルモニター	1	PTSCカテーテル
				2	ニチノールアクセスワイヤー
				3	ドレナージカテーテルセット
				4	三孔先穴ドレーン（0114214、0114216、0114218）
				5	ソフライト除菌Ⅱパウチ
				6	アルペット手指消毒剤
				7	除菌バッグ
				8	クイックスイート（手術台準備キット）
持ち回り	6月3日	1	放射線治療部門情報システム		<なし>
第２回	6月22日	1	総合臨床検査システム		<なし>
		2	生理検査システム		
		3	自動採血管準備システム		
		4	気管支鏡		
第３回	7月26日	1	個人用多用途透析装置		<なし>
持ち回り	9月2日	1	空気清浄装置		<なし>
		2	術中リニアプローブ		
持ち回り	10月13日	1	リニアック室専用棚		<なし>

38　市民交流・サービス向上委員会

2021 年度、本委員会はボランティア活動を支援し、患者サービスの向上、療養環境の向上や市民の方々との交流を図る事を目的として「教育研修・調査改善部会」、「投書部会」、「院内環境改善部会」、「ボランティア部会」の４つのグループ体制で、次のとおり活動を行いました。

1　教育研修・調査改善部会

（1）　教育研修担当

11 月 16 日、(元　井田病院　医事課長)　片野　修司さんを講師として「病院職員のための接遇研修」をテーマとした接遇研修(参加者 57 名)を実施しました。

（2）　待ち時間調査担当

外来診療・会計待ち時間調査

7 月 27 日に実施しました。

ア　外来診療待ち時間調査

外来患者 438 人に対し調査を実施し、平均診療待ち時間は 28 分 10 秒でした。

イ　外来会計待ち時間調査

359 人に対し調査を実施し、平均待ち時間は 8 分 49 秒でした。

(3)満足度調査担当

7 月 12 日から 7 月 14 日の 3 日間で外来患者満足度調査を実施し、調査票 500 部(有効回収数 494 部)を配布し回収しました。入院患者に対しては 7 月 6 日から 8 月 31 日に調査を実施しました。総合満足度は、外来では 87.4%、入院では 92.7%が「満足＋やや満足」という結果になりました。また、職員に対しても 7 月 6 日から 8 月 31 日にかけて調査を実施しました。これらの結果について検証し、3 月に満足度調査報告会を行い、院内職員に対して報告いたしました。

2　投書部会

毎週火曜日に外来、各病棟フロアに設置している投書箱から投書を回収し、水曜日の午後に部会を開催しました。また、いただいたご意見は担当部署に対応(回答)を依頼するとともに、三役会議にも投書内容を伝え対応結果等(回答)は投書者に返書及び院内掲示しました。

3　院内環境改善部会

院内・院外の環境の整備と病院利用者の視点で院内の快適性を配慮し安全で安らぎの療養環境を提供することを目標に活動しています。院内の掲示物や清掃の点検を行い、12 月 21 日には職員による病院周辺部の美化活動を実施しました。

4　ボランティア部会

2021 年度も新型コロナウィルス感染症対策による入館制限に伴い、院内のボランティアの活動が自粛となり、屋外での園芸活動のみ実施いたしました。イベント等は開催できませんでしたが、ボランティア活動を継続するために、ボランティア登録者と連絡を取りながら活動を行いました。

＜年間行事＞

※ 通年活動　院内の観葉植物のお世話

7 月	七夕笹飾りつけ
12 月	クリスマスの飾りつけ 院内職員向けコンサートの共催
3 月	吊るし雛の飾りつけ

（文責　委員長[副院長] 藤原　実香）

39　ホームページ・広報委員会

ホームページ・広報委員会は、井田病院に関する情報を市民等に広報することを目的として設置しています。所掌事務は、ホームページの管理・運営等に関すること及び院内報の発行に関すること並びに病院に関する広報に関することです。市民や医療従事者等に向け、正確かつ分かりやすい情報提供を行えるようホームページの情報更新を適時行っており、また井田病院の情報をタイムリーに提供するため、委員で活発な情報収集と検討を行い、情報の発信を適時行っています。

2021 年度は委員会を３回開催しました。ホームページに関してはページ毎に院内の担当部署を決め、担当部署ごとに保守管理を行っています。院内報「井田山」に関しては、2021 年度は２回発行しました。

号数	発行日時	ﾍﾟｰｼﾞ数	主な記事
第 72 号	6 月 16 日	6	○診療費支払機が新しくなりました！！ ○新任医師紹介 ○新型コロナウイルス奮闘記～医師編～ ○新型コロナウイルス奮闘記～看護部編～ ○新型コロナウイルス抗原定量検査とは？ ○井田病院の特製春巻きについて ○アゼリアビジョンで井田病院の動画が放映されました！！
第 73 号	1 月 6 日	4	○年頭のご挨拶 ○新任医師紹介 ○高精度放射線治療システムが稼働いたしました ○コロナ渦のときほど、保湿ケア ○市民公開講座のご案内

（文責　書記［医事課］久保 明子）

40　臨床検査管理委員会

2021 年度の当委員会は、新型コロナ感染症蔓延の影響により、12 月に紙面での 1 回開催となりました。経過報告として、2020 年度の人事について、臨床検査システム更新に伴う変更点について、ALP(JSCC)併記の終了について、迅速発育性抗酸菌感受性検査開始、百日咳抗原検査開始について報告しました。

今後も本委員会を通じて、各診療科と看護部および検査科で、密接に意思疎通を図りながら、当院の診療体制をより充実したものにしていきたいと考えています。

（文責　［検査科担当課長］佐野　剛史）

41　外来診療委員会

外来診療委員会は、外来運用の安定稼動や患者サービス等の外来診療環境の向上を図ることを目的として設置しています。

2021 年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、全４回の開催となりましたが、新型コロナワクチン接種に係る主治医の意見について、電話による予約変更・キャンセルの対応について、薬局からの疑義照会について、診察の呼び込みについてなど、外来診療

に係る諸課題について改善に向けて検討を行いました。

当委員会では、今後も引き続き、外来診療に係る様々な諸課題について、改善に向けて検討を行ってまいります。

（文責　書記［医事課］五十嵐　大介 ）

42　手術部委員会

手術部委員会は医師、看護師、放射線技師、臨床工学技士、薬剤師、中央滅菌室、庶務課、医事課、SPD のメンバーで構成され、手術室における物品管理や滅菌管理を含む様々な課題に対応しております。

今年度は新型コロナへの対応や、繰り返し滅菌切れ資材の管理、手術枠、使用期限切迫リストの作成、川崎病院との物品共用、手術画像記録の管理などにつき検討・実施しました。

（文責　［麻酔科部長］中塚　逸央）

43 HCU 委員会

2017 年度までは手術室･ICU･CCU 運営委員会として運営されていましたが、2018 年度より HCU 委員会となりました。

当委員会は偶数月に開催しており、稼働状況の報告とともに入退室基準等、HCU についての様々な課題について検討を行い、HCU の円滑な運営に努めております。

2021 年度は稼働率の上昇が課題となっており、さらに入室の申し込みや患者家族に対する対応などについて確認を行いました。2021 年度の具体的な HCU の運営状況につきましては「集中治療室」の項をご覧ください

（文責　委員長［麻酔科部長］中塚　逸央）

44　院内がん登録運用委員会

「院内がん登録」とは、国が定める「がん登録の推進に関する法律」に基づき、外来、入院を問わず、当院を初診で診断、治療の対象となった悪性新生物と一部の悪性以外の新生物に対して、情報を収集し登録する仕組みです。

「がん診療連携拠点病院」である当院では必須要件として、毎年、「院内がん登録」業務を行い、作成したデータを院内がん登録データ、全国がん登録データとしてそれぞれ国と県へ提出しています。今年度の院内がん登録件数は、新型コロナウイルスの感染の広がりによる受診控えの影響等から 1,030 件となり、昨年度より 224 件減少しました。予後調査については、合計 227 件の住民票照会を行いました。

「院内がん登録の運用上の課題の評価及び活用に係る規定の策定等を行なう機関」として本委員会は設置し、今年度は 2 回開催しました。院内がん登録データを用いた、井田病院と他病院のがん患者の男女別割合の比較の報告、予後調査の報告、井田病院のがん登録数について近隣の病院との比較の報告等を実施しました。

来年度は、「院内がん登録運用マニュアル」に則ったがん登録の実施に加えて、院内がん登録データを用い、他病院と比較した井田病院のがん診療の立ち位置、予後調査の精度向

上に向けた運用上の課題についても、報告及び検討する予定です。

（文責　委員長[副院長] 掛札　敏裕）

45　地域包括ケア病棟運営委員会

地域包括ケア病棟は、急性期医療が終了した後に、リハビリテーションや訪問介護指導等を行い、在宅療養への退院支援を目的として平成 28 年４月に開設され、平成 28 年 11 月１日から、地域包括ケア病棟入院料２を算定する病棟として正式運営となり、今日に至っています。

2021 年度は委員会を３回開催し、コンサルタントを招いた勉強会も２回開催し、病棟の活用方法並びに運用についても、検討を行いました。３月の委員会では、来年度の診療報酬改定で、入院患者に占める一般病棟から転棟した割合が６割未満となることを説明し、満たされない場合は、入院料から 15%の減算となり、約 5,000 万円の減収となるとの試算を示しました。

2022 年度は、2022 年３月現在で満たされていない６割未満の院内転棟率について、どのようにして達成するか議論を行い、決定事項を病院の方針として周知し、全職員一丸となって、９月までに達成できるよう努力を行っていきます。

今後とも地域との架け橋となる病棟として、近隣の病院や地域の開業医、訪問介護ステーション等と協力して、在宅療養の実現に向けた地域包括ケア病棟の運用を行っていきたいと考えております。

（文責　委員長［整形外科部長］水谷　憲生）

《地域包括ケア病棟施設基準に関する実績》

１　リハビリの実施状況

	対象患者実数	延べ対象期間	実施単位数	平均単位数	一日の平均対象者数
５月	27	392	973	2.48	12.7
６月	31	288	904	3.14	9.9
７月	30	263	799	3.04	7.4
８月	16	224	723	3.23	7.9
９月	－	－	－	－	－
１０月	6	28	73	2.61	4.7
１１月	25	343	817	2.38	9.1
１２月	29	415	1039	2.50	11.7
１月	17	249	642	2.58	6.5
２月	18	250	616	2.46	7.1
３月	23	246	612	2.49	6.4

施設基準　2.0 以上

２　在宅復帰率

	在宅復帰率	退院者総数
５月	93.0%	43人
６月	96.9%	32人
７月	82.1%	40人
８月	82.0%	45人
９月	－	0人
１０月	100.0%	1人
１１月	79.2%	25人
１２月	88.6%	36人
１月	80.0%	56人
２月	84.1%	45人
３月	78.8%	52人

施設基準　70%以上

３　重症度、医療・看護必要度

	７対１病棟群	地域包括基準
５月	31.30%	13.40%
６月	34.70%	25.20%
７月	36.60%	22.90%
８月	35.70%	28.20%
９月	32.80%	－
１０月	33.30%	36.70%
１１月	36.90%	26.40%
１２月	36.50%	12.20%
１月	36.00%	14.30%
２月	37.60%	31.70%
３月	42.60%	23.50%

４　病床稼働率

	入院患者延数	一日平均患者数	稼働率	在院日数
５月	866	27.9	62.10%	22.8日
６月	658	21.9	48.70%	16.9日
７月	792	25.5	56.80%	17.5日
８月	589	19	42.20%	16.5日
９月	0	0	0.00%	0.0日
１０月	50	1.6	3.60%	8.9日
１１月	665	22.2	49.30%	17.0日
１２月	1057	34.1	75.80%	17.0日
１月	998	32.2	71.50%	16.0日
２月	933	33.3	74.00%	19.5日
３月	1080	34.8	77.40%	17.9日

施設基準　25%以上　Ａ項目１点以上が10％以上

《地域包括ケア病棟への転入実績》

１．　病棟別転入件数

病棟名	3西	4東	5西	5東	6東	7西	PCU	合計
件数	3	128	28	76	81	64	0	380

２．　診療科別転入件数

診療科名	内科	呼吸器内科	腎臓内科	糖尿病内科	肝臓内科	救急科	循環器内科	リウマチ科	緩和ケア内科
件数	68	47	46	9	30	1	28	13	2
診療科名	外科	乳腺外科	整形外科	皮膚科	泌尿器科	耳鼻咽喉科	歯科口腔外科	合計	
件数	4	0	125	3	3	1	0	380	

46　緩和ケア委員会

緩和ケア委員会は、「緩和ケアの提供、運用が適切、円滑に行われるよう体制の整備、推進を図る」ことを目的として、2017 年度に新たに発足しました。2021 年度は、緩和ケア研修会、緩和ケアスキルアップ・フォローアップ研修会、かわさき在宅ケア・緩和ケア症例検討会の準備運営を緩和ケア委員会が担い、計５回委員会を開催致しました。

1　2021年度の実績

（１）委員会開催実績

2021年度は、委員会を５回開催しました。以下に委員会での主な議題を記載します。

2021年度　地域連携委員会の主な議題

日時	主な議題
5月11日 16:00～	◎令和３年度緩和ケア委員会名簿について確認 ◎緩和ケアスキルアップ・フォローアップ研修会及びかわさき在宅ケア・緩和ケア症例検討会の開催日時及び担当割振について確認 ◎研修会開催前及び当日の主な業務について確認 ◎第１回緩和ケアスキルアップ・フォローアップ研修会内容及び講師・運営担当確認
6月1日 16:00～	コロナ感染拡大に伴い、中止
7月6日 16:00～	コロナ感染拡大に伴い、中止
8月3日 16:00～	コロナ感染拡大に伴い、中止
9月7日 16:00～	コロナ感染拡大に伴い、中止
10月5日 16:00～	◎第１回緩和ケアスキルアップフォローアップ研修会について報告 ◎第２回緩和ケアスキルアップ・フォローアップ研修会の内容及び講師・運営担当確認 ◎第３回緩和ケアスキルアップ・フォローアップ研修会の内容及び講師・運営担当確認 ◎第１回かわさき在宅ケア・緩和ケア症例検討会の内容及び講師・運営担当確認 ◎令和３年度緩和ケア研修会(11/7・川崎病院にて実施)の確認
11月2日 16：00～	◎第２回緩和ケアスキルアップ・フォローアップ研修会の報告 ◎第３回緩和ケアスキルアップ・フォローアップ研修会の内容及び講師・運営担当確認 ◎第１回かわさき在宅ケア・緩和ケア症例検討会の内容及び講師・運営担当確認 ◎第４回緩和ケアスキルアップ・フォローアップ研修会の内容及び講師・運営担当確認 ◎令和３年度緩和ケア研修会(11/7・川崎病院にて実施)の確認

12 月 7 日 16：00～	◎第 3 回緩和ケアスキルアップ・フォローアップ研修会の報告 ◎第 1 回かわさき在宅ケア・緩和ケア症例検討会の内容及び講師・運営担当確認 ◎第 4 回緩和ケアスキルアップ・フォローアップ研修会の内容及び講師・運営担当確認 ◎第 2 回かわさき在宅ケア・緩和ケア症例検討会の内容及び講師・運営担当確認 →コロナ感染拡大に伴い中止 ◎緩和ケア研修会(11/7・川崎病院にて実施)の報告
1 月 11 日 16：00～	コロナ感染拡大に伴い、中止
2 月 1 日 16:00～	コロナ感染拡大に伴い、中止
3 月 8 日 16：00～	◎第 4 回緩和ケアスキルアップ・フォローアップ研修会の内容及び講師・運営担当確認 ◎令和 4 年度緩和ケア委員会の確認

（２）緩和ケア研修会

2020 年度に引き続き、地域がん診療連携拠点病院として、「緩和ケア研修会」並びに「緩和ケアスキルアップ・フォローアップ研修会」を川崎市立川崎病院と共催で開催しました。

① 緩和ケア研修会

11 月 7 日（日）の 1 日間で開催しました。今年度は川崎病院が主催し、井田病院が共催しました。

この研修会は、「がん診療に携わる医師に対する緩和ケア研修会の開催指針」に準拠しており、研修修了者は厚生労働省より緩和ケア研修会修了証書が交付されます。

院内より 21 人の参加があり、21 名全員が修了証書の交付を受けました。

当院の受講率は、2021 年 9 月 1 日現在で、ア.自施設に所属する臨床研修医 100.0%、イ.1 年以上自施設に所属するがん診療に携わる医師・歯科医師 98.1%、ウ.1 年以上自施設に所属するがん診療に携わらない医師・歯科医師 83.3%、エ.1 年以上自施設に所属していない医師 94.7%でした。

令和３年度 川崎市立井田病院「緩和ケア研修会」プログラム

日時	テーマ	時間	担当者	役職・職種
11月７日(日)	研修会の開催にあたって	9:00 ～9:30	三島 牧	医師
	E-learning の復習・質問	9:45 ～10:30	佐藤 恭子	医師
	アイスブレイキング	10：40 ～10：50	徳納 健二	医師
	『コミュニケーション』 **がん医療におけるコミュニケーション** 【オリエンテーション】 【グループワーク】ロールプレイ ○ロールプレイングによる患者への悪い知らせの伝え方についての演習 ○がんと診断された時から行われる当該患者のがん治療全体の見通しについての説明 昼食休憩	10:50 ～12:20 **○90分**	徳納 健二 齋藤 寿昭 佐藤 恭子 夏 錦言 三島 牧 安藤 孝 三浦 孝政 井澤 菜緒子 有泉 健 梶谷 美砂 久保田敬乃 筒井 祥子 小山内 愛海	医師 看護師
	『がん疼痛事例検討』 【講義】 ○全人的苦痛に対する緩和ケア（肺がん） 【グループワーク】 ○グループ演習による症例検討 がん疼痛に対する治療と具体的な処方	13:20 ～14:50 **○90分**	久保田 敬乃 安藤 孝 三島 牧 佐藤 恭子 齋藤 寿昭 徳納 健二 夏 錦言 梶谷 美砂 井澤 菜緒子 有泉 健 三浦 孝政	医師

			筒井 祥子 小山内 愛海 鈴木 果里奈	看護師
	休憩			
	『療養の場所の選択と地域連携』 **がん患者の療養場所の選択、地域における医療連携、在宅における緩和ケア** 【講義】 ○がん患者の療養場所の選択及び地域連携についての要点 ○在宅における緩和ケア 【グループワーク】 ○グループ演習による症例検討	**15:00** **～16:30** **○90 分**	安藤 孝 久保田敬乃 佐藤 恭子 齋藤 寿昭 三島 牧 徳納 健二 三浦 孝政 井澤 菜緒子 有泉 健 夏 錦言 梶谷 美砂 筒井 祥子 小山内 愛海 手塚 順子	医師 MSW 看護師
	『がん患者等への支援』	**16:40** **～16:55** **○15 分**	筒井 祥子	看護師
	ふりかえり＆ポストテスト	**16:55** **～17:15** **○20 分**		

② 緩和ケアスキルアップ・フォローアップ研修会

偶数月、第３木曜日の夜に計４回開催しました。

この研修会は、より実践的に緩和ケアについて学ぶことができる内容で、2021 年度は、院内外より、延べ 116 人の医師・医療従事者の参加がありました。

緩和ケアスキルアップ・フォローアップ研修会 研修参加人数(2021)

回	日時	医師		看護師		コメディカル		合計
		院外	院内	院外	院内	院外	院内	
第1回	5月20日	0	11	0	13	0	12	36
第2回	10月21日	0	8	5	13	1	6	33
第3回	11月18日	0	8	3	9	3	6	29
第4回	3月17日	0	8	0	5	0	5	18
合計		0	35	8	40	4	29	116
		35		48		33		

令和３年度緩和ケアスキルアップ・フォローアップ研修会プログラム

1. 時間：18：00～19：00
2. 場所：川崎市立井田病院　２階会議室
3. 参加対象者：医療従事者、介護関係者等で在宅ケア・緩和ケアに従事している方及び関心のある方
4. プログラム日程表

	開催日	テーマ	講師	職種
第1回	5月20日	テーマ：がん患者の疼痛管理 「がん性疼痛治療薬の基礎と応用」 「がんサポートチームの活動について」	 久保田 敬乃 鈴木 果里奈	 医師 看護師
第2回	10月21日	テーマ：呼吸器症状の緩和 「がん患者の呼吸器症状の緩和」 「NHFを緩和ケア病棟で使用した症例」	 佐藤 恭子 梶谷 美砂	 医師 医師
第3回	11月18日	テーマ：緩和ケアにおけるこころのケア 「傾聴しても変わらない患者への対応を考える」	 福島 沙紀	 心理士
第4回	3月17日	テーマ：緩和的放射線治療について	福原 昇	医師

（３）かわさき在宅ケア・緩和ケア症例検討会

2020年度に引き続き、地域がん診療連携拠点病院として、奇数月、第３木曜日の夜に計１回開催しました（第２、３回はコロナ感染症拡大のため実施なし）。

この症例検討会は、地域のニーズをふまえ、地域のネットワーク作りを目指した内容で、2021年度は、院内外より延べ44人の参加がありました。

かわさき在宅ケア・緩和ケア症例検討会 研修参加人数(2021)

回	日時	医師		看護師		コメディカル		合計
		院外	院内	院外	院内	院外	院内	
第1回	12月16日	2	6	8	13	10	5	44
合計		2	6	8	13	10	5	44
		8		21		15		

（４）　取組内容

ア　緩和ケアの現況と課題について

緩和ケア病棟の運営、転院相談、在宅緩和ケア、教育研修などの現況と問題点を委員で確認し課題解決に向けて検討しました。

令和３年度かわさき在宅ケア・緩和ケア症例検討会プログラム

1. 時間：18：00～19：00
2. 場所：川崎市立井田病院　２階会議室
3. 参加対象者：医療従事者、介護関係者等で在宅ケア・緩和ケアに従事している方及

び関心のある方

4. プログラム日程表

	開催日	テーマ	講師	職種
第1回	12月16日	テーマ:AYA世代の患者の在宅看取り 「医師の立場から」 「看護の立場から」	 秋本 香南 深井　清乃	 医師 看護師

イ　緩和ケア研修会の運営等について

昨年度からは緩和ケア委員会のメンバーが主体となって運営しました。コロナ禍のため、研修会が開催できないことも多く、来年度からはZoom併用での研修会開催を検討しています。

２　来年度に向けて

引き続き緩和ケア全般の課題、問題点を検討していくとともに緩和ケア関連の研修会の運営を委員会のメンバーで担っていきます。また、さらに研修会の講師に外部講師を増やし、地域連携も進めていきたいと思います。

（文責　委員長[在宅緩和ケアセンター所長]　佐藤恭子）

47　がんサポート・緩和ケア部会

2003 年より緩和ケアチームとして活動を始め、2009 年６月から専従医師・専従看護師が配置されました。地域がん診療連携拠点病院として、院内および地域のがん患者とその家族に対して、質の高い緩和ケアの提供をめざし「がんサポートチーム」の名称で活動しています。

2018年４月から引き続き、専従医師として久保田敬乃医師が配置されました。2021年７月より専任医師として増田香織医師が配置されました。専従看護師は、2019年４月から引き続き、鈴木果里奈（緩和ケア特定認定看護師）が配置されました。その他のチームメンバーは緩和ケア内科医、精神科医、放射線治療科医、薬剤師、栄養士、公認心理師、理学療法士が所属し、多職種が連携してチーム医療を提供しています。

がんサポートチームは、一般病棟に入院中の緩和ケアを必要とする患者を毎日回診し、週２回の合同カンファレンスと週１回のチーム合同回診を行っています。2021年度がんサポートチーム依頼件数は197件でした。2012年から活動を開始した非がんサポートチーム依頼件数は42件でした。非がん疾患患者に対する緩和ケアは、行政の方針においても拡充が求められており、当院でも年々増加傾向にあります。介入の内容は、疼痛緩和、その他の症状緩和、精神的ケア、家族ケア、当院緩和ケア病棟や在宅部門の訪問診療及び訪問看護の介入も含む療養場所の選択、意思決定支援など多岐にわたります。

国の指針である早期からの緩和ケアの推進を具体化させる手段として、2014年５月から緩和ケアに関するスクリーニングを開始しています。2021年度のスクリーニング件数は416件でした。がんと診断された時から患者が切れ目のないケアを受けられるように、がん看

護緩和ケア班のリンクナースと協働し、スクリーニングの推進とがん看護・緩和ケアに関するさまざまな活動を行い支援しています。さらに神奈川県がん診療連携協議会・緩和ケア部会では、県内の病院と緩和ケア提供体制について情報共有を行い、がん患者の療養生活の質の向上に努めています。

（文責［がんサポートチーム専従看護師］鈴木　果里奈）

48　病床管理運営委員会

今年度は、新型コロナウイルス感染症の病床管理に伴い委員会を開催し、稼働病床及び休床などについて議論しました。今後も、病床管理運営要領に沿った適切な病床運用・管理を推進いたします。

（文責　書記［医事課］宿田　友子）

49　ハラスメント防止対策委員会

ハラスメント防止対策委員会は、川崎市立井田病院におけるセクシュアルハラスメント、パワーハラスメント及び妊娠、出産、育児又は介護に関するハラスメントの防止及び対策を講じることを目的として 2020 年８月１日に設置しました。

2021 年度は、ハラスメント相談窓口等に対し１件（パワハラ１件）の相談がありました。ハラスメント防止対策委員会として介入を行い、現在は問題の解決が図られています。

今後も相談者のプライバシーには十分配慮し委員会としての役割を担っていきたいと考えております。

（文責　委員長［病院長］伊藤　大輔）

50　糖尿病サポートチーム運営委員会

半田前糖尿病内科部長の時代に立ち上げられた糖尿病サポートチームは井田病院の糖尿病診療を支えてまいりましたが、2021 年度より院内委員会の１部門として承認され、以前と同様に糖尿病療養指導の質の向上を図るべく活動しております。活動内容といたしましては、糖尿病診療機器、様々な教育用機器を利用した注射指導などの知識や経験を共有したり、糖尿病や合併症、関連疾患について院内パラメディカルの知識の底上げを図ることを目的とした年６回の糖尿病に関する勉強会の開催を行ったり致しました。(うちコロナウイルス感染症拡大の影響で実際施行は４回でした。)今後はコロナウイルス感染症で開催できなかった患者会の開催、年１回の世界糖尿病デーのイベントの施行なども含め井田病院の糖尿病診療に厚みを持たせること、さらに人手不足になりがちな療養スタッフの充実を図ることを目標に時代の診療の流れに乗り遅れることなく活動してまいりたいと思います。

（文責　委員長［糖尿病内科部長］金澤　寧彦）

51　認知症ケア運営委員会

認知症ケア運営委員会は、2021 年４月に院内委員会に設置されました。

認知症ケアサポート医、認知症看護認定看護師、作業療法士、ソーシャルワーカー、病棟リンクナースともに連携し、院内の認知症ケアの向上のため、週１回のチーム回診を行っております。毎月第２週金曜日に開催し、2021 年度は 12 回開催しました。認知症患者の周辺症状やせん妄の対応について協議し、事例の検討やスキルアップのための勉強会を行いました。今後も病棟リンクナースともに連携し、質の高い認知症ケア、看護を提供できるように努めていきたいと思います。

（文責　委員長[呼吸器内科医長]　荒井　亮輔）

Ⅷ　取得図書

1 利用統計（図書室所蔵資料等の統計）

1　単行書

単行書	冊数
洋書	198
和書	4165
計	4363

（ 2022年3月31日現在 ）

2　製本雑誌

製本雑誌	冊数
洋雑誌	848
和雑誌	1890
計	2738

（ 2022年3月31日現在)※製本は2020年度より廃止

3　相互貸借

申入件数	受付件数
63	52

（2021年 4月1日～2022年3月31日）

4　メディカルオンライン利用統計

PDFダウンロード件数	9436
FAX取り寄せ件数	3

（2021年 4月1日～2022年3月31日）

2 単行書受入

洋書　2冊
和書260冊
視聴覚資料　3点

3 EBMツール

1 UpToDate Anywhere
2 DynaMed
3 今日の診療（DVD格納版）

4 文献検索ツール

1 医学中央雑誌Web
2 最新看護索引Web

5 電子書籍ツール

1 メディカルオンライン
　イーブックスライブラリー

6 現行受入雑誌(洋雑誌)

1 Anesthesiology (Online)
2 Annals of Surgery(Online)
3 Arthritis and Rheumatology (Online)
4 Cancer(Online)
5 Chest(Online)
6 Clinical Infectious Diseases
7 JAMA
8 Journal of Bone and Joint Surgery[Am.vol](Online)
9 Journal of Clinical Oncology(Online)
10 Journal of Urology(Online)
11 New England Journal of Medicine

・電子ジャーナルパッケージ

（洋）

1 ProQuest Medical Database
2 Medline with Full Text
3 ClinicalKey

（和）

1 メディカルオンライン
2 医書.jp

7 現行受入雑誌(和雑誌)

1 Expert Nurse
2 INFECTION CONTROL（感染対策室別置）
3 INNER VISION(放射線科別置）
4 Japanese Journal of Medical Ultrasonics ＊
5 Orthopaedics
6 Visual Dermatology
7 クインテッセンス
8 クインテッセンス　デンタルインプラントロジー
9 月刊ナースマネジャー
10 ソーシャルワーク研究（地域医療部別置）
11 日経ドラッグインフォメーション(薬剤部別置）
12 メディカル・テクノロジー(検査科別置）
13 レジデントノート
14 看護
15 看護技術
16 看護人材教育
17 看護展望
18 緩和ケア
19 肝臓 ＊
20 呼吸・循環・脳実践ケア(→重症集中ケア）
21 救急医学
22 月刊ナーシング
23 月刊新医療
24 腫瘍内科
25 消化器外科
26 消化器内視鏡（内視鏡C別置）
27 心エコー(検査科別置）
28 全国自治体病院協議会雑誌 ＊
29 地域連携・入退院支援
30 日経メディカル ＊
31 日本医師会雑誌 ＊
32 日本外科学会雑誌 ＊
33 日本環境感染学会誌 ＊
34 日本透析医学会雑誌 ＊
35 日本内視鏡外科学会雑誌 ＊
36 日本病院会雑誌　＊
37 日本臨床外科学会雑誌 ＊
38 病院安全教育
39 保健師・看護師の結核展望
40 臨床リウマチ ＊
41 臨床栄養（食養科別置）
42 画像診断（放射線科別置）

＊は寄贈雑誌

編　集　後　記

2021 年度は前年度に引き続き、神奈川モデルの「重点医療機関」として、新型コロナウイルス感染症対応を行ってまいりました。８月の第５波の際には確保病床を 92 床まで引き上げるなど更なる体制の整備を図り、年度末までに延べ 6,800 名を超える入院患者を受け入れたほか、ワクチン集団接種会場への医師等の派遣、個別接種会場として医療・介護従事者や市民の方へのワクチン接種を行うなど、公立病院としての使命を果たしてまいりました。

また、一般診療においては、内視鏡手術の充実を図るため新たに泌尿器内視鏡科を設置したほか、老朽化した放射線治療機器（リニアック）を更新・拡充するなど、地域がん診療連携拠点病院としてがんへの取組を推進いたしました。

当院は、本市の人口が増加を続け、高齢化が進む中、地域の医療機関との連携を強化し、最良・最適な医療を提供することで皆様に信頼され、安心して受診できる市立病院となるよう職員一同全力を尽くしてまいります。

当院の活動の証として、この度、『病院年報』第 51 号（2021 年度版）を発行いたしました。年報発行に当たりご協力いただきました皆様に深く感謝申し上げます。

事務局長　田中　良典

川崎市立井田病院年報

第５１号（2021 年度版）

令和４年（2022 年）12 月発行

編集・発行　川崎市立井田病院

〒211-0035　川崎市中原区井田２丁目 27 番１号

電　話　　044（766）2188（代）

ＦＡＸ　　044（788）0231